石谷
稲葉
伊勢
畧譜

五

内閣文庫
和書
三六〇八八
二一一
一五六
八
五

390
閣

内閣文庫
番號	和 36088
冊數	211(5)
函號	156 17

石谷
稲葉
伊勢

略譜

五

内閣文庫
和書
類 三六八
號 二二
冊 五六
架 八

内閣文庫
番號 和 36088
冊數 211(5)
函號 156 17

390

二百十一冊内
共十五

国立公文書館
National Archives of Japan

掠

一 前京、姓
石谷

本領遠江國之者、二階堂幸江ら為憲
二十五石九人
高五役九躍

藤原為憲江主之後人西郷彦太郎十八人
之長 西郷左馬允清長惣領
石谷十郎左衛門
始要
政清
冊
書云ゝ少ゝ

記録御用所
内閣文庫
閣 390

猪　今川義元公御下知並御證文　永禄十一戊辰年
月日之外十郎左衛門并惣郷石谷十左衛門殿江
当石谷十郎左衛門文書之定
権現様より御朱印之前寺郷之石谷十郎
台徳院様　御母堂様御郷様ゟ寄附
而已同左衛門石谷ゟ相渡申候　同十二己巳年
正月廿六日
権現様　御墨附頂戴仕私方所持仕候
石　御判物之写

今度訴訟令許訴了
石谷十郎左衛門一所出石百
貳拾俵　御手俵之笑　前々之所務之
之処今度相改候条寄附之所
永々之事不可有違乱候
右者石谷十郎左衛門所持之旨仍如件
永禄十二己巳年　御判
正月廿六日　　御朱印写
石谷十郎左衛門殿

○十郎右衛門義ハ次男ニ而天正二甲戌年正月廿日
備後七條ニ而出生…ニ而江国上畑村
石谷大膳亮殿時…大膳亮殿ニ随小姓
ニ而寛永十六年…石ニ而十郎右衛門養子
ニ仕候

行重　入道号無門
大池村ニ隠居仕候

春徳
武蔵国
龍淵寺住職

政宣
[illegible]

庄三郎
[illegible]

清定　石谷市郎右衛門養子
萬千石不
[illegible]

永禄十一戊辰年…女
[illegible]

[illegible]
天正十八庚寅年関
東御入国之節…武蔵国多摩
郡入間村百石…石泉村百石
[illegible]

唐之内乱

高子右石
象牧之曜

清定

石谷西郎右丈

裏面白紙

国立公文書館
National Archives of Japan

三十

草野右衛門養子姓
内蔵助

石谷

石谷十郎右衛門政清四男　当年十七歳

高千石
家紋九曜

清定

石谷市郎右衛門

裏面白紙

国立公文書館
National Archives of Japan

同十郎左衛門 後ニ改ム 天正二甲戌年正月廿五日
病死 七右衛門葉苑ニ葬ル 江国上高宮村
石谷七郎兵衛 菊村 又兵衛太郎兵衛ニ随ヒ小法
之次男 寛月十六日家督仕 石谷十郎左衛門 又八
申候

行重 入江市左衛門
大坂ニ於テ討死ス

春経 龍渕寺住職
武州盛岡

道一 石谷十郎左衛門 後改政信 四男

政信 石谷十右衛門
別紙ニ記ス

清定 石谷市郎右衛門

母
妻

書 小川 與平 某女

元和二年 ... 以テ ... 出

永禄廿 ... 年 ...

従 ... 天正十八庚寅年 関
東江入国之後 ... 武蔵国多摩郡
新入間村百石 石泉村百石 ...

右同○慶長六年辛丑正月一日病死於在所
葬武蔵国多摩郡泉村泉龍寺 法名
代々葬地也

清重　石谷又左衛門
仕大久保石見守長安ニ仕

政重　石谷次郎左衛門
松平忠輝卿ニ仕其後
紀伊頼宣卿ニ仕病死
某　左衛門　某妻

守之
井伊掃部頭家臣
木村源次左衛門　某妻
小野田小一郎　某妻

巳

清年　石谷十郎
母同上
久須美平某女
初稱源次郎
在仕台徳院殿御書院番文禄元歳
年六月十日病死葬于御門
法名

清政　石谷貞之助
母
尾張國家来
久須美平十郎女
妻　松平孫次郎某女

父ハ遊斎ニ候よし、慶長七年[illegible]

[illegible]

[illegible]明暦二丙申年十月十六日病死六十二歳

九兵衛 寺葬 法名浄[illegible]

貞清 石谷十蔵 [illegible] 石谷一岩次[illegible]直清ノ祖

別腹 [illegible]

女子二人 [illegible]

亮 三 清明 石谷七之助

今ノ[illegible]清ノ養[illegible]

母 松井[illegible]女

妻 中山勘解由直定女

寛永九壬申年[illegible]

[illegible]明暦二丙申年[illegible]

寛文八年六月十八日田辺豊岡[illegible]引渡可被遣旨

田重、

[illegible]寛文八戊申年[illegible]

[illegible]寛文十一[illegible]

二月江戸[illegible]

[illegible]延宝[illegible]貞享元甲子

父ゟ遺跡[illegible]

[illegible]

元和二丙申年十月十六日病死六十三歳

九兵衛門[illegible]

貞清 石谷十蔵[illegible] 石谷一学次郎直清祖

別腹ニ有之

男子三人[illegible]

[illegible]書

[illegible]書

清昌 石谷七之助

今ノ[illegible]清明又作

母 松井石見守[illegible]女

書中[illegible]定女

寛永九壬申年[illegible]

天獣院様[illegible]元和二丙申年[illegible]

[illegible]寛文八戊申年[illegible]

御地組別[illegible]寛文十[illegible]

万治三子年十二月[illegible]

寛文[illegible]年十二月[illegible]

[illegible]

年十二月廿五日病死小普請○元禄七甲戌年
七月廿二日隠居○同八亥年正月廿七日病死
谷中宗円寺ニ葬　深広了休

清信　石谷九八郎

母　中山勘解由直定女

妻　浅野権兵衛氏恒女

寛文二寅年御目見　十二月廿日
寛文七丁未年御切米二百俵　御書院番
元禄七甲戌年七月廿日家督○同九丙子

年四月廿二日病死谷中宗円寺ニ葬　深広宗聖

清長　石谷市右衛門養子

実ハ石谷市右衛門頼信二男

女子二人

清宗　十三郎　石谷九郎

清職　石谷七之助　査之助

母　浅野権兵衛氏恒女

実母 [illegible] 女 重蕃女

元禄八年七月 [illegible]

[illegible]年 [illegible]

元禄九丙子年七月九日家督 [illegible]

癸未年二月九日書院番 [illegible]

正月廿六日 [illegible]

吉良左兵衛 [illegible] 病死之付 [illegible]

且同年十二月九日 [illegible] 府 [illegible] 同戊子年七月

廿六日 [illegible]

代今 [illegible] 二月 [illegible] 同年九月 [illegible] 七日 [illegible] 府

同 [illegible] 七庚寅年正月十一日 [illegible]

正徳元年七月 [illegible]

正徳元年七月 [illegible]

同甲午年正月十一日 [illegible]

三月廿二日 [illegible]

病死 [illegible] 葬 [illegible]

女子 [illegible]

一 女子 [illegible]

清 [illegible] 石谷 [illegible]

△元禄八年七月
二ヽ年廿子

国ゟ悪地と讃候ニ付
有渡河郡三ヶ村
うらゟり移さる
同三年

正徳元年七月
廿八日御定府
御奉勤苦候
上意
御加増

実母玉虫御台所女房 重孝女
書院 清父 ...女
後藤郷利...女
元禄九丙子年七月九日家督 小普請 ... 谷才兵衛跡 同十六
癸未年二月九日御書院番 宝永三年
正月廿六日 御側 ... 上 ... 仕
吉良左兵衛 病死ニ付 同月廿九日江戸発足
同年二月九日御帰府 同五戊子年七月
廿六日御書院番 同六己丑年 ... 月 ... 御目付
代 ... 三月 ... 同年九月十七日 ... 府
同 ... 七庚寅年正月十日 御目付 ... 正徳

正徳元年七月 ... 御定府ニ ...
御徒 ...
甲午年正月十九日 ... 享保元丙申年
三月廿二日 ... 同 ... 三年
病死 ... 起

女子 一 ... 清蔵妻
中奥 石谷 ... 清宮妻
... 病死 ...
... 聟

清蔵 石谷 ...

母 石谷九八郎清信女

妻 倉橋内匠直之女

享保六辛丑年十二月廿八日家督小普請○月九

甲辰年十月九日小普請清水○門十日同年

九月廿日病死二十九歳葬 法名

清條 石谷七之助 後七十郎

兄長子ニ成

女子 二女 渡辺半之丞保業妻

三女 本郷利清妻

四女 松平又兵衛親妻

清條 石谷七之助 一七十郎

母 家女

妻

享保十四己酉年十二月八日家督小普請

寛保○年○月二十七日 年七月十日小普請組○門

年十月廿日病死二十七歳葬 法名

清馨 石谷八十次郎 [illegible]三男

母 新井飛驒守君昌女

妻 渡辺河内守廣行女

享保二十乙卯年十二月十三日[illegible]家督小普請[illegible]

○寛延三庚午年八月[illegible]日書院番[illegible]

同六年十月十八日進[illegible]同年四月[illegible]

同十二年[illegible]年十二月[illegible]

同十三年十二月[illegible]日[illegible]同年九月十九日[illegible]

府○明和七庚寅年二月五日病死[illegible]

同年月[illegible]葬 法名[illegible]

清悌 石谷大助 実石谷[illegible]七男

養母 渡辺河内守廣行女

実母 家女

妻 土岐大隅守頼常女

明和七庚寅年六月四日[illegible]家督小普請

清○安永四乙未年十二月十六日[illegible]

[illegible]○同年[illegible]月十四日書院番○同[illegible]

年四月日光 御徒頭□信□□七月廿日年卒
同年同月大納言 上総介□□八年九月六日小姓組
上総介寛政八年八月四日死去年五十歳同月法名□□

二男 武石 大□□ 下総国 武蔵国之内 浅野国

清昌
河野 ワサ 初 童名
[illegible]
母某氏 家□ 御□某女
寛政八年十二月三日家督 二十七歳 同九年十二月九日 [illegible]
その母を□と□ 父々先之死去

女子 御□某 妻
[illegible]

菅原姓
石谷 為憲流

大織冠鎌足より十二階 [illegible]
為憲後胤 [illegible]
石谷十郎左衛門 清次男

清定
石谷 [illegible]
母 [illegible] 某女

元禄十一戊寅年八月廿七日石谷長十郎忠房嫡
相続石谷十左衛門政信二男石谷七郎左衛門清
定一同
授得称之石谷十左衛門政信家之南村石
谷市右衛門所領之内新田嫡家之内住ル七郎左衛門定
清定家之南村石谷大助家之内住ル右
七郎左衛門後大田富右衛門天正十八庚寅年
関東へ入国清定仕御武蔵国多摩郡
へ多村百五十石余泉村百石之知行拝領

五百石之高ニ成慶長六辛丑年六月廿日
病死五十六歳武蔵国多摩郡泉村泉龍寺
葬

清定　石谷久右衛門
授称之家清定ニ續知行小性組元和元
壬辰年六月十日於北方後金病死葬
母■■

清政　石谷長五郎
南村五十石…

在任[illegible]
藤原[illegible]
[illegible]
右谷
[illegible]

元禄元年以下
の[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible] 卯 十二月 致仕 去[illegible]

妻 [illegible]某女

妻 松倉内膳正重昌女

寛永十四巳年乃[illegible]

[illegible]別家[illegible]大[illegible]候[illegible]

[illegible]仕候[illegible]

[illegible]

中[illegible]

御[illegible]仕候 御[illegible]

仕[illegible]郎ニ 御目見[illegible]

仕候[illegible]一[illegible]御[illegible]

[illegible]仕[illegible]

二百俵 年 正月[illegible]国[illegible] ○

三[illegible]御[illegible]役 ○ 同[illegible]年[illegible]月[illegible]

国[illegible]

寛文[illegible]二年 六月[illegible]頃[illegible]仕[illegible]

御[illegible]字

貞清　石谷左近将監　知行千五百石　致仕　去丈

母　水谷隼人正某女

妻　板倉内膳正重昌女

慶長十四己酉年……生

台徳院様より別家……大番……

……江戸……

……

中より……

右　御使……

仕置郡……御……

仕……

……

二百俵……

……

國……

寛永二年十月……

御朱印之写

上総国今別寺村
百弐拾七石弐斗山辺
郡押日村百七拾
弐石八斗　相模国
上萩村弐百石合
五百石事宛行之
訖全可令知行者也
寛永二
七月廿七日
石谷十蔵とのへ

寛政譜
[illegible]

一同八壬戌年四月
台徳院様御光臨 御法事 御成[illegible]
宇都宮へ御越之節江戸ゟ御供
ニ而[illegible]○寛永九壬申年七月[illegible]
跡○同年九月六郎信政[illegible]○同十[illegible]
年四月十六日[illegible]○同年八月[illegible]
[illegible]○同年十二月[illegible]甲斐国
[illegible]五百石○同十一甲戌年四月廿九日
[illegible]

二月廿五日丁
御取上被成候
同年二月廿五日
御府　十七日

同年六月廿五日
御下渡之節
上方御役所江相渡
候
同廿六日御取上ヶ
上方御番
御朱印頂戴　人
同年九月十八日
上方御番
御朱印　人

御朱印者往古ゟ在之候処右御朱印之儀
年六月　御下渡之後○同十三丙子年二月
東海道御伝馬御割ニ付御渡ニ付○同年十二月
寛永ニ新銭ニ付御用ニ付江戸御役所
之儀○同十四丁丑年十月於肥前国御用
丹後守蜂須賀紀伊守十二月九日為御使板倉
内膳正并十兵衛石谷御附添相渡候人足
御朱印頂戴所持仕候右
御朱印之写

人足弐
御朱印
石谷十兵衛殿

人足八人馬壱疋従江戸肥前国
御用迄下可相出者也石谷
十兵衛口達之上所附候人足之
寛永十四年十二月九日
御朱印

右衣者石谷十兵衛殿肥前国被遣候節御同年十二月

六日漢京ニ於テ清正(?)来ル 宣祖(?)年正月朔日来朝(?)
趙貴(?)ニ依テ押寄セ城中ヲ攻掛リ鎮圧(?)ス
死スル有之騎馬数百人没シ依テ大門ヲ退キ居ニ付因縁ニ
十万余ノ兵ヲ寄セ敗走シテ和ヲ請ヒ進メ京城ニ付
因縁ニ十万余ノ兵ヲ寄セ京入宮殿城中ヘ放火
引上ケ其後ヲ攻メ数人ヲ捕ヘ切捕リ因縁ニ
放火ノ中ニ戦死十万余ノ兵放火ノ中ヨリ居ヲ立
甲冑大ニ損シ捕虜被リシ（江戸ニ於テ甲冑ヲ見ル）
足ル自身ノ居士（?）
浅ヨリ打死ス有之数多一門死ス…卒

三月(?)二十日夜城中ヘ夜討ヲ仕掛ケ十万
余ノ兵ヲ押寄セ依テ城中ヘ押寄セ正月二十七日
城中ニ依テ一門貴人ヲ討ツ織信(?)兵ヲ集メ
夜ニ入リ兵ヲ集メ方ニ押寄セ城中ニ攻メ掛ケ
織信ト五閣(?)ニ於テ望見八日東ニ於テ被仰付
十万余人柵ノ内ニ入織信ヲ撃殺ス
織信(?)兵ヲ以テ城ニ一万余ノ兵ヲ以テ漢京ヲ攻
（…ノ甲冑…）
府(?)ニ於テ門ヲ…年十二月十日討死ス
…二十二日…

六日鴻巣ニ着ス江戸ヨリ大坂寛永年正月ニ罷越ス明
越貴仕候ヨリ押寄スル塩浜中ヘ鉄炮打越ス
死ニ及ヒ負傷者多シ候ヨリ先ツ退キニ付内藤正
十郎家臣敗軍ニ付候ニ候得共進軍ニ付
内藤正十郎塀ニ付テ家ヘ入籠城中ヘ鉄炮
打懸ケ本丸ヲ枝葉入火深ク切所内藤正
鉄炮中戦死十郎傾テ鉄炮ニテ中ヘ居ル
甲冑大ニ損シ指内息被申候
侯ヨリ打死ノ負傷等ニ一門了其外死ノ候年

三夜ニ付ニテ夜塀中ヘ夜打ニ懸ル家老十郎
後藤ヲ押寄候ヨリ申候ニ正月二月朔日
塀中ニ候ヨリ一門貴人ニ付織部正九ニ集メ申
夜ニ入東西ニ方細川越中守ニ付棚ニ付
織部正ニ立関ル申ス望無ク日本ニ付候ニ出申
十郎無人棚内ニ入織部ヲ撃殺ス
次良ニ残ニ付ヲ三月朔日鴻巣着
寛永十二年十二月廿日十勝出
寺社ニ付ニ
後紀ヲ記三月二日到着

重館譜者之女子
二人ニ重出ノ故ニ
省略

十九
十一月朔日山城国左右衛門尉...府○慶安
三庚寅年十月朔日大番ニ列シ...給ス
同年御勘定○同己卯年十二月十八日御納戸頭○
同月廿五日任左近将監從五位下○寛文二年正月廿九日病死○同年
七月十六日遺跡御前ニおゐて御誓詞上意ニ
須居御書院番ニ列シ切米六百俵須居料ニ
新ニ判賜者へ○寛文十二壬子年九月
十三日病死七十九歳同月ニ葬

女子
某妻
政次
政次妻

武清
後ニ谷長門守
母 板倉内膳正重昌養女
妻 本多安房守中川左京亮女

致仕 武清

寛永十七年十月十五日御目見○
同年御小性組○延宝二年甲寅年十二月
某ニ番組頭○元禄元戊辰年正月
大御番頭○同年十二月従五位下○
年三月廿三日任伊賀守○三千石○万治

一
二

寛文二壬寅年八月廿七日家督○寛文三癸卯年
正月
厳有院様御目見　此時家中法度○同六丙午年十一
月廿日采地四百石之内弐百石之分知○同十二壬子年
閏六月廿六日○延宝元癸丑年三月十九日様御目見
近江国浅井郡之内都合弐百石之○
同年七月　様御目見之節御目見之為御礼
同廿日御目見○同年七月朔日　長崎奉行同
七未年十二月廿日病死家督○跡目之儀
法成新兵衛之病死法名之付元禄二己巳年

同四年四月近江国の采地之内豊田郡之内弐百石之知行十一月六日御役被召
乃采地之上総国武射郡之内弐百石之知行

十二月廿七日源十郎蔵人清次嫡孫養子○同
十六癸未年七月廿二日隠居名を改清次
○宝永七庚寅年三月八日病死八拾四歳

三
同寺に葬　法名　英人
信親　母同
　　賢　母は　百助　孫十郎
　　母は百助信次長子

二
女子
　　越前浦上某之妻

一　二　三　四

清成　石谷三之丞

母　[illegible]女

妻　[illegible]女

女子　[illegible]妻

稲垣[illegible]之後妻　稲垣十兵衛[illegible]女

万治二巳亥年八月九日[illegible]　御目見[illegible]十六歳 [illegible]

[illegible]元禄二己巳年八月[illegible]病死 [illegible]

死　四十[illegible]

[illegible]

女子　[illegible]

五　六　七

實ハ清成[illegible]　武蔵[illegible]

女　[redacted]

女　[redacted]　[illegible]浄成[illegible]妻

稲垣[illegible]

女　[redacted]　稲垣十兵衛重[illegible]妻

[illegible]清　石谷十蔵

[illegible]

女子三人　[illegible]女

ヨシ
某清

[illegible]　石谷十蔵　[illegible]十郎太夫

国立公文書館
National Archives of Japan

年月不詳
宝永二年五月甲斐守乃采地を遠江国榛原城東両郡乃内ニ移さる中

同
五月下総国国府之内地を割く河内国乃内ニ移さる

母 稲垣十左衛門重章女

書 松平源太夫定直女

元禄二己巳年十二月廿七日嫡孫藤松○同十一戊寅年七月廿七日家督小普請○同年八月十二日進月

之所乃○宝永年九月九日…○家督之

丙戌年十二月十六日小性組○享保九甲辰年

七月十九日病死 法名顕山

真清 石見十左 御旗奉行加藤兵庫

母 松平源太夫定直女

享保 母 家女

書 天野井上…松平主水正…長女

享保九甲辰年九月廿九日遺跡家督小普請○

同年同月…○享保二十乙卯

年…月九日小性組○元文二丁巳年六月

十日大番○同年霜十二月御徒頭

両番…

御午年十二月十八日大番頭御附

乙卯同月…延享元甲子年十月廿八日病

死三経山西光寺に葬 法名花林

女子 甲斐庄 徳永靱負昌□妻

澄清 石谷十蔵 初七兵衛
小姓組伴番 始曾祖中興之家通

母 松平三十郎康□女

妻 坪内□□□□女
甲斐守□□□□

貞享元甲子年十二月廿二日家督 小普請

同二乙丑年 月 日 寛□□□ □□□□ ○宝暦六丙子年 十二月廿七日

ム 十一年十六月遠江の本地を割く上総国長柄山辺両郡の内に移さる

巳月十日小姓組○同八戊寅年十二月廿一日□□奥番○明和八辛卯年六月廿七日 小姓組番頭□□安永二甲午年二月十六日西丸□□□□○同六丙申年二月六日白光 御役□□□中□□□丸□□□助○同十□□月廿二日□□西丸□□□□戊□○同六丁酉年十二月廿六日西丸□□□□病に依て□○同七戊戌年六月六日病死 八□□□○同九庚子年正月廿日病死 三経山西光寺に葬 法名□□

同十二月廿八日 布衣

系 石谷彦之助 早世

同 清
石谷十蔵 初又四郎 後 初 将監 異蔵

母 坪内伊豆守定隆女

妻 石谷淡路守清昌女 後備前守

[illegible]

安永五丙申年十二月廿九日 御目見 同八己亥年
正月廿八日 [illegible] 同九庚子年 正月

又右 女
天明年九月遠江
様名郡乃ミち地と
内玉屋田 [illegible] 東二
郡乃うら [illegible]

同月家督小普請○二入 同年八月廿三日御目見 寛政元酉年 [illegible] 月
七日西ノ丸小姓組 中川飛騨守組 ○寛政元年 同年十二月十六日叙
従五位下大和守 寛政十 [illegible] 二拝領 ○同三年 [illegible]
二月死 [illegible]

女子 坪内主税定 [illegible] 妻 小普請

系 石谷豊吉 早世

系 石谷 [illegible] 次郎 早世

宗□□□□□山□□の□□□□□□

[illegible]

政清 [illegible]

[illegible] 文政十二年 [illegible] 十七 [illegible]

- 政清
  - 政信　二郎 [illegible]
  - 清定
    - 清正　[illegible]
    - 貞清　吉次郎 [illegible]
  - 政重　[illegible]

- 圭清　吉次郎
  實仁加賀久保大蔵織吉書三男
  小出額形英野之女
  寛政六年八月二了 [redacted] 遺海と號 時十七歳
- 妻　眞清の妻なり

同
或ハ大鼓第十二代と云 或譜ニ十三代とも有 高鼓第の後なり
其ハとゝのへ給ひ白ゐ説ハ是を削べく記さるゝ 或ハ總領ハ為憲ハ

下居
或ハ代々称名乃居を居住せしといふものゝ或ハ又見様ハ行清か父乃住居方行清か生地ならんやとも依く
作者る事竟行清か本名と称し 年ハ或ハ甫合を定る藩長藩ハ二階堂家ハ本名とも云
とハ乃是を或ハ乃説りとえる時ハ其政清か名谷せ称せし 年乃ニ年月なりしと奈良出る
すのか或ハ乃性りとゝる記ハ今乃呈譜と政清の豊後ニ家として成ノ是か為乃角と云ふとゝ
志るし置奈ハ削りさる事きか在ル或る時の上より寛永萬國之家譜と引べき云て記ある
も乃を改めるべく其家ニ云ことあるや有 今乃呈譜云この所収布本文政清云々以上ハ
寛永萬國之引家乃或ハ年の今乃呈譜ニハ政清云ことも見る事へきか再検もあるなり
清長家ハ二階堂家ハ元文行清より以来引続ある故く政清か改名谷を改名し 遂き
或ハ總ハ塁家乃説りあるも政清か年を累用しあくる時ハ清長か法も名石と称せし
之累用ともなる處しで強ち無る時ハ肩書り四積ある兄元寛永萬國之系譜を引べし云
とあるし今此呈譜云の所を行る事あるべく今の是ハよりの行清よりの以来名石を
称し政清乃家ハ乃紀をし時本名乃角乃称号を遂べく名谷は行る處もよいと云
余か愚の按識ありしくもの二階堂と称せし時乃ことハ寛永萬國に所乃
是譜ニおきしをとる處なりこと

裏面白紙

附曰

右ノ六郎兵衛十一代とあて系譜ニ十二代となる寛文郎兵衛の歳たるハ
年十八年とよりも旧白石縁ハ是を削て記さるゝ當ノ惣格ハ凡寛之
るとも土蔵二階堂の祖ともあり多様ニ見寛るる總て二階堂
を称ゆるとの事ニ寺伊縁と世家の祖とする所の行秋見
る所あり但し多様堂嗣なる子之行秋あ縁と云ふ蔵と記さき
比種ハ世家の祖之行秋と局人ニ詳ある也又六代元祖さ
二階左兵衛尉某貞ハ子四郎二郎行秋あ縁にハ是ハ也比家の祖
行秋あるさるある当ニ行の年竟ハ何も二階堂よ支族ある也
出しとの事ある也し文なる又しもと二階堂と称して云し
と云ふ事ハ系譜掲出系譜と引し一般ニハ見えるゝものと之
とも行秋ある情あるとく乃備る考て記ある一般ある
系譜と其同行るる旅日寛永系図旧譜と引るくと云ふの文と
中さ是とかふ

裏面白紙

主法 吾次郎
實ハ作ヵ久保大給織部晝三男
小出鍋次郎女
寛政六年八月 遠江ニ於テ 時十七歳

妻 直清ヵ妻

政清

政信 三郎

清足

清正 石之助

貞清 吾次郎

政重 熊吉

政之 本姓 石谷 宮原氏代
寛政九年 石谷
宮原

政清 石谷十郎右衛門

母

書

今川義元

文政十二年 二十七月法名

[illegible]十月廿九日 [illegible] 石谷十右衛門尉

永禄二年九月 [illegible]

権現様

石谷十郎右衛門文信定 [illegible]

権現様 [illegible]

[illegible]

以上四通

権現様 御判御朱印 [illegible]

[illegible]

右之石者 [illegible] 一分召置

貳拾俵 [illegible] 并前々 [illegible]

並田畑 [illegible] 新開 [illegible]

永代 [illegible] 遣之 [illegible]

[illegible] 仍如件

永禄十二年己巳

正月廿六日 家康御書判

石谷十郎右衛門殿

北条四代

○勤京少輔 天正二甲戌年七月廿六日七
十二歳ニテ病死 法名 [illegible] 江州国上画
郷村ニ居ル太郎作 当時 是ヲ兼太郎作ト
唱ル 法名 毎年七月廿六日霊祀有之 右
十郎左衛門ノ子孫ニ而 法名ハ不詳

一 沙弥 入澤左衛門
仕武田信玄ニ仕

二 系説 武田氏成田
龍淵寺住職

三 政信 石原十左衛門
母 [illegible]
寿 [illegible]
元和二年三月十五日 [illegible]
寛永 [illegible] 年
長篠 [illegible] 戦功 [illegible] ○同十八庚寅年
関東ニ入国之砌 [illegible] 武蔵国 [illegible] 多摩郡 [illegible]
○二之後 [illegible]
戊 [illegible] 年 [illegible] 病死 [illegible]
平 [illegible] 武蔵国多摩郡 [illegible] 寺 [illegible]

同　清重三代ノ孫又六ト云 清重実ハ又五郎 十二月尾張ニテ[illegible] 石谷又右衛門[illegible] [illegible] 駿河ニテ[illegible] 皆[illegible] 正保[illegible]

九

清定　石谷宗右衛門尉

石谷庄之助清豊ヵ祖父

[illegible]

清之　石谷又右衛門

駿河ニ生ル 久保[illegible]

政重　石谷源右衛門 一説[illegible]

石谷豊前守ヵ祖父

宇三太

七 [illegible]

八 小[illegible]

同　カノ[illegible]

三

弐

東　石谷喜兵衛

[illegible]

政勝　石谷市右衛門

女

書

初

[illegible]

慶安[illegible]

[illegible]

羅郡之内篠目村弐百石御加増被下置

鳥居甚八同村之内弐百石都合四百石被下置○同十一丙午

年十月廿三日於大坂御番○元和二年依御城之番

○元和九癸亥年七月廿三日 　戊辰ヵ

大猷院様御部屋住御小姓 御供衆之内 御目見

御加増弐合三百石○寛永十甲戌年 知行並 二十日

御加増弐百石都合五百石 御加増百俵地方ニ 廿日

成御小姓組頭被仰付同年八月十日

ニ而 同村之内弐百石都合千石被下置

弐百石○同十八 慶安年中 御書院番 寛文二

寄合○御番衆 都合 被仰付○寛文二

癸卯年九月廿八日病死八十歳同寺葬 法名 某

己

某

為一　小野田小七郎

井伊掃部頭家来

小野田彦右衛門為寛養子

某

石谷十之丞

一戸縫殿右衛門忠之妻

女子四人

作事奉行

小野久兵衛忠之妻

大御番

七郎兵衛某妻

一

成勝

頼信　石谷市右衛門　初久三郎

母　[illegible]女

[illegible]

寛永七庚午年十二月十日　御目見〇同十三丙子年十二月[illegible]大御番〇[illegible]元[illegible]年

[illegible]元[illegible]〇[illegible]元

戊戌年[illegible]〇[illegible]卯年

十二月[illegible]〇同[illegible]九月[illegible]

[illegible]七百石〇[illegible]年

二

三

同二十日[illegible]同七[illegible]年十二月[illegible]日

精勤[illegible]小[illegible]

[illegible]月七日[illegible]年[illegible]

月[illegible]六十[illegible]

宗　石谷十助　[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]年十二月十[illegible]日病死

女子

[illegible]妻

清長　石谷市右衛門　初　孫四郎
実父石谷七之助清□次男
亮

養母　某氏
実母　津田勘解由正定女
妻　久松忠次郎定□女
天和三亥年十二月廿三日養子
元禄元戊辰年七月十二日家督　御目見　青山□□書
同四元禄二己巳年正月廿九日小普請□□□□
宝永元甲申年十二月二日病死
法名　常□

清定　石谷与四郎
実父石谷□右衛門清□次男　継　非
養母　久松忠次郎定□女
実母　加藤□□□□女
妻　石谷孫八郎清□女
元禄十四年九月十四日
宝永元甲申年十二月廿七日家督　小普請
同年十月八日病死
法名　□□

清賞　石谷十助

清員　石谷十助　実ハ[illegible]

養母　石谷九八郎清佐女

実母　新井筑後守君美女

妻　[illegible]女

宝永二乙酉年二月十九日家督小普請[illegible]

寛延三庚午年十月十八日[illegible]

七月朔日[illegible]

十二月病死[illegible]葬[illegible]

[illegible]　歳[illegible]

宗　石谷市之助

清盈　石谷助太郎

母　新井筑後守君美女

妻　[illegible]女

元文元年[illegible]

宝暦元辛未年九月二日家督小普請[illegible]

壬申年九月十日[illegible]明和二丙戌年

九月十四日病死[illegible]葬[illegible]

二　化　女　二　七　三

清馨　石谷八十次郎
実 ［illegible］
享保二十乙卯年十二月廿七日生
石谷七之助清倹養子

清茂　石谷市十郎　後号 ［illegible］
明和二丙戌年十二月廿七日生　嫡長子

清［illegible］　大助
明和七庚寅年六月廿六日生
石谷八十次郎清馨養子

女子　早世

清茂　石谷肥前守　市十郎　市左衛門
宝暦［illegible］五月　従五位下
［illegible］
養母　村上縫殿助正道女
実母　家女
妻　［illegible］
［illegible］
明和二丙戌年十二月二日家督　小普請　同年
十二月廿五日　御目見　同［illegible］年十二月［illegible］
［illegible］七壬寅年九月［illegible］

○安永五丙申年日光　御社参御供被仰付候ニ付
奉行御免同六丁酉年正月廿三日御役御免天明
八戊申年十月十九日西丸御留守居寛政元己酉
年九月七日御同役寛政二庚戌年十月
二日
殿岸院様御葬送御用被仰付同年十二月十日
二條殿姫君彰君御入輿御用相勤同三
辛亥年四月十日　禁裏附同年六月彰
君御逝去ニ付同月廿七日御葬送御用頂戴
七月十日京都町奉行被仰付従五位下肥前守　御推任

叙任　従五位下肥前守閑東寛政三年正月
叙ニ而同任　従五位同月廿七日御暇被下置
同年十二月十二日　禁裏　御所御修復
御用掛○同九年四月廿九日御役御免同十年五月十日
死去享年五十四

女子
清順　石谷江之嫁
寛政十年三月十四日　同年八月三日
去ル十一年五月廿二日　同年十二月
文化三年十月四日西丸御納戸
文政元戊寅年八月十九日
天保九戊戌年十二月十七日
御広敷
女子

有徳院殿御代　藤原姓

石谷

高八百石　家紋

石谷次郎左衛門政清之子　斎藤九之丞

清氏

権左衛門　時清之子

● 権左衛門　岩清

紀伊家仕

● 長清　権之丞

岩清長子

石谷豊前守

清全

女子　清全ノ妻

岩清男子

紀州御供分限帳に 五百石 御供番 ……

……享保元年

惇信院殿 ……二丸 ……本丸 ……

享保十二年八月廿日 日光御供

同十年七月廿八日 ……

元文四年正月十一日 ……同年

十二月十八日 ……

寛保三年十二月廿日 職御辞し 寄合に列し

延享元年十一月 ……

六月四日死 ……葬

清昌 石谷淡路守 左門 ……

女子 高井兵部少輔信房妻

清承 平三郎 ……

享保十年十二月十一日 ……同十八年

十二月廿七日 ……元文

二年六月十五日 ……同四年十二月

……

[illegible]

年十一月廿日 ……同年十二月十日

紀州御供小姓帳ニ
年とかけり 二丸ニ而 享保元年

五百石 内御納戸 竟信為
右御納戸 代り付
来地とうくから帰り

惇信院殿様御部屋住より二丸ニ而 御小姓 …… 布衣
下野国那須郡之内ニ而 …… 同年十二月十八日布衣

享保十二年八月廿八日
御小納戸 同十年七月廿八日 ……

日光御供

元文四年正月十一日 …… 同年

寛保三年十二月廿日
職御辞し 寄合ニ
列し

十二月十六日 従五位下 …… 石谷淡路守 又改

延享元年 十一月 有 廿日 …… 延享三年

六月 …… 年 ……

清昌
石谷淡路守 左門 ……

享保十六年十一月廿二日初而御目見 同十八年
十二月十六日西丸小納戸 同月廿八日布衣 元文
元年六月 淡路守ニ改 同四年正月
志村遊佐将監 ……

女子
高井兵部少輔
信房妻

清永 平三郎
……

年十一月廿日家督 同年十二月十日
……
同年十二月 …… 延享元

延享二年九月朔日
西城ニ而被仰付

宮様御礼○同巳年九月廿四日宗雅院殿○寶暦
元年六月廿日
有徳院殿薨御ニ付翌二月御霊屋御
十一月廿日御遺金被仰付同月十二日御霊屋○
寶暦二年壬申六月廿八日西丸女中人数○同
酉年三月十八日西丸御用付○同六年
子正月十一日依願寄合○同八年正月
同九年十月同所御勤御免寄合○同十一年
六月廿六日

惇信院殿御送葬御法事掛同年十二月
有章院殿御霊屋御修復并新 御殿造営
掛○同年八月十四日御法事御用被仰付○同十二
年六月六日御霊屋御修復御用○同年七月
十六日御上寺御修理造営出来御用被仰付候之
無滞出来ニ付御賞被仰付之○同
八月廿八日出精ニ付御褒美○明和二年十二月廿六日
長崎奉行
御役御免ニ付御奏者番御用被仰付
被仰之表御用取次御用被仰付
同月廿八日御役御免之

同六年二月廿九日御法事ニ付掛り被仰付
同七年二月十七日長崎表江被差遣候ニ付
御往来之節追而四国筋并中国筋
当分長崎之儀も諸事被仰付置候
候者也候 御目付大目付衆与御相談之上
御称之上申合利而御沙汰も文蔵
御役職被仰付候後長崎表ニ而諸事被仰付
可申事と被仰候ニ付右之趣相達候
候所御用勤之小野日向守殿江申達候処

長崎表江被差遣御奉書渡海之節
奉備候上ル二百石加増被仰付
同八年正月二日
有徳院殿廿一回忌御法事掛 六月廿四日
御用被仰付 同年七月十七日奉行日光御社
参掛り 安永二年十二月廿日
惇信院殿廿五回忌御法事掛り 同三年
二月廿九日東叡山ニ而御修理御用
御掛り 同年九月廿日万事年 日光

[illegible]

寛永九年十月十五日御膳番○同年十二月

廿日奥番を兼役○同月廿六日三

百俵加増時服二合力米五十俵○同十年

正月廿六日御広間番にて蔵米百俵下し賜ひ

備前守御番二月廿七日時服二合力米○同

十六年七月廿二日

御納戸組頭に転し同年八月廿六日時服

二○寛永十七年二月十二日御納戸番頭

物?時服二○同年十二月十日御納戸

○同年十二月廿八日同番時服二○

同八年八月廿八日同月廿八日川

四月御納戸時服○寛文二年十月十五日病

寛文年十二月十日死す法名

一 某 多門平世

三 清定

石谷十兵衛清正
初清貞 言八百石
母ハ正言ヵ女
宝暦十年四月廿八日初見○同十二年
妻ハ新見正則ヵ女

四 女子 石谷十蔵因清ヵ妻

二 女子 稲生勝房ヵ妻

五 女子

九月廿八日小姓組○同年十二月十五日
若君様御附○明和元年十二月廿七日御小
納戸○同年三月廿七日西丸御附○同
十二月十九日布衣○安永八年四月十五日
若君様御供奉之面々同十八日一橋御家合○
天明元年四月廿一日再御小納戸○同年
六月廿八日西丸御小納戸○同二年十二月廿
四日[illegible]○同六年閏十月七日[illegible]丸
御宮[illegible]同年十二月廿四日

自奏者番御用人同六年二月八日相続
西丸[illegible]列[illegible]葬送[illegible]同年七月合
御[illegible]○同年二月毎日寄合○同七年
六月八日
若君様御小納戸○同九年十二月九日小納
戸頭取○同年十二月十八日叙爵○ 豊前守
同十年十二月廿七日小納戸頭取 △

△享和元酉年五月
六日病免寄合
三日同二年十月十二日
隠居[illegible]同月[illegible]言
信濃[illegible]
[illegible]文政二年
[illegible]月[illegible]

清 ヨニ
量
[illegible]
石谷周防守 [illegible] 寛政三亥[illegible]
誠五 [illegible] 二郎 [illegible]
[illegible]

△十二月十六日布衣○

天明四年十一月十八日家治公御前○元服○（時日古方）六歳
寛政元年一日家斉公御目見○同六年九月八日・
御小性組蒲生筑前守組江被召出（之初）○同十年十月
十七日家斉公御前○同八年四月御小納戸○御小姓
寛政六年十二月十二日叙爵○同六年（周防守）
二月廿五日御使番○同九年閏七月十三日
駿府目付八月廿五日御小納戸○同年十二月
其八月御留・

女子　清豊之妻

女子　阿部駿河守正賛之室

女子　亀井平三郎清亮之女
　　　養女後之（亀井監物）
　　　堀田之妻となる

清常　十作

女子

二
清香　石谷東吾
母ハ清定之女
寛政十年八月五日
太閤公御目見（時九歳）

三
某　重三郎

四
某　直五郎

一
女子

藤原姓　本氏長谷川

稲葉

大蔵守隆時之介　出信濃之府相模武蔵号

秀郷流浅羽若狭守稲葉之長谷川出之号之後

旧代　長谷川荒馬

長次

石谷大馬只長谷川七郎馬長谷川紀伊守之家中

之有家新田為長谷川石谷大馬長沢新紀江

又和田切兵衛門依之下家来之代官慶長十五

稲葉

秀郷流[illegible]

旧代 長政[illegible]

長次

石見守[illegible]

[illegible]

[illegible]

庚戌年六月廿日病死[illegible]

海寶院ニ葬

長重 [illegible]

[illegible]

天和三年[illegible]
[illegible]

[redacted]〇代[illegible]

十 庚戌年 月[illegible]

[illegible]〇月[illegible]病死[illegible]

[illegible]寺ニ葬 [illegible] 法名[illegible]

利ノ葉

庚戌年六月廿日病死六拾歳 [illegible] 廣
海寶院[illegible]葬

長也 [illegible]
長谷川[illegible]男
石家[illegible]
長[illegible]
[illegible]三郎男
長安
稲葉八[illegible]男
雨宮作[illegible]
[illegible]

養子
嚴有院様御代
元[illegible]廣東三[illegible]歳
藤原姓
稲葉 本姓長谷川
[illegible]上藤
三郎左衛門
長谷川藤[illegible]長[illegible]三男稲葉[illegible]
長安二男
[illegible][illegible]
[illegible]二[illegible]
[redacted]○[illegible]甲辰年[illegible]月[illegible]日○月
宗観[illegible]勤[illegible]
十庚戌年[illegible]月[illegible]代[illegible]元禄二己巳年[illegible]
[illegible]
天和三年[illegible]
十三[illegible]
須[illegible]○[illegible]八[illegible]年六月廿[illegible]日病死[illegible]
[illegible]寺[illegible]葬代[illegible]
[illegible]

利之事

庚戌年六月廿日病死ニ付稲葉采女扱ニ而 庸

海寶院江葬

長重 長崎新兵衛ニ嫁

石家方ニ在之

長勝 長崎三郎兵衛ニ嫁

長安 稲葉八之丞ニ嫁

寛十年伊田...

病死仕

天和三年...

[redacted] 稲葉六之丞ニ嫁

昌勝 母 石井氏女 [redacted]

妻 不知

寛文二壬寅年新規ニ被召出[redacted] 御目付

[redacted]〇月 同甲辰年月日不知 御小姓組〇〇月

十庚戌年月日不知 御代官ニ被仰付 元禄二己巳年 御蔵奉行

源右〇〇同八乙亥年六月廿六日病死采女 御知行

浄覚院寺江葬 代ニ 三百石 相続

△八年八月廿五日
御書院番山岡
十二月廿五日御加増
全五百石
▽
△三位中年十二月
清信同日
右加増加増 遠江守

女子

勝信　稲葉岳之丞
母
書院番新太郎昌言女

元禄二己巳年十二月十四日家督山岡清信○同年
三庚申年十一月四日勤仕○同七甲戌年四日加増
家督清信○同十四辛巳年十二月廿九日加増勤仕定
御目見○同十五壬午年十二月廿日加増百俵○正徳
二壬辰年七月四日病死定○享保

同一月朔日病死年○○
詳伝未詳
以下之巻

元禄中年月日加増百俵都合二百俵
俵○同十三庚申年六月廿九日病死○
同十五庚戌年正月廿五日病死年○同寺
二

女子

勝久　

蘇　法名浄性

盤圀　

宝永六己丑年十二月十二日
病死年

女子　早世

女子　文右衛門

女子

女子

勝信　稲葉無一太夫

母　書院番 松平新五郎昌□女

元禄二己巳年十二月十四日家督小普請○同文

三庚午年十一月□勤 ○同七甲戌年□加□

宝永○同十四辛巳年十二月九日□勤□仕

次○同 壬午年十二月□□加□百俵○正徳

二壬辰年七月□□信□勤□仕□○享保

△ 八年八月□□ 十二月□□ 全□ ▽

△ 三□年十二月□□ □□ 遠□ ▽

元禄甲申年月日□加□百俵□□□□

候○同十三庚申年六月二九□□□□□○

同支 庚戌年正月廿五日病死□□□□寺

同□□□□□□□□□□

勝久 作兵衛

蘇 □□ 浄性

女子

鑑圓 □□□□

宝永六己丑年十二月十二日

□□八郎□□□□□年□子

敬勝 平八郎

二男 稲葉文右衛門

□□□□□□□□□□□□□

母 鈴木新五郎 ... 女
書 玉虫左兵衛 ... 女
享保元年八月 ... 庚戌年 [illegible] 小普請 ...
十二月廿七日大番○寛保三癸亥年十二月十日
組頭○明和七庚寅年閏六月七日病死六
十九 葬同寺 法名攬誠

敬長
稲葉勘左衛門　市之丞
母 玉虫左兵衛 ... 女
書 横瀬門之助 ... 女

寛保元年九月朔日御目見
宝暦二壬申年十二月廿七日家督 ...
甚 ... 三百俵○明和七庚寅年九月 ... 継家
督○安永 ... 申年四月 ... 日光 ...
番○天明三癸卯年三月廿八日病死 ...
同寺葬 法名 ...

盛庸
法名 ... 　隠居 阿波 ...
寛保二壬戌年十二月廿二日 ... 人
 ...

保勝
 ...
 ... 病死

女子　小笠原　松平伊豆守忠幹妻

氏勝　母ハ某氏　享保四年八月七日生　稲葉主膳　初称市之丞

養母　横瀬門之助貞臣女

実母　交代寄合　林某諱[redacted]女

番長ヵ

妻　堀仁左衛門長昌女

安永二年十一月十五日家督　天明三癸卯年六月朔日逝去　三十八才　小普請

月八日申年二月廿五日病死

女子　御書院番[redacted]

女子

某　稲葉五郎早世

長英　母ハ長昌女

常憲院様御代

越智姓

高千石

家紋 折敷三字文
之[illegible]笹丸

稲葉

稲葉美濃守正則七男兄稲葉
丹後守正通分知

稲葉左衛門 初名 勘十郎

通周 初正賀

母 家女

妻 [illegible] 彦次郎[illegible]女

元禄十丁丑年六月十三日兄丹後守通達家督ヲ継
ニ百俵新田分知合三百俵ヲ加ヘ合五百俵○同年八月
十二日ヨリ御代官役ニ附○同十五壬午年
二月廿八日御勘定組頭○同年十二月十八日布衣○宝永六
己丑年十月十五日御小性組番○享保八癸卯年
十二月廿七日病免小普請○同十四己酉年十月廿四
日病快ク重テ小普請○元文三戊午年十月
十日病死七十一歳 葬浄谷 惟順

通明 稲葉惣十郎
母不知
享保五庚子年六月十二日初テ御目見 九月九日家督
年九月八日病死 年廿二 孫福寺ニ葬
稲葉左京 初今次郎 左近 初紀

通彦 初通純
母 稲葉勘右衛門通女
妻 酒井安藝守家臣女
元文三戊午年十二月廿七日家督ヲ継 同四己未
年四月十八日 寛延元年 七十 年九月十六日

宝暦八○同年十二月廿八日市之丞○同九己卯年十月
十一日病死三十八歳 法名忠精

女子二人 宗往江 山田平左衛門利延妻
宗栃 松平隅太郎信成妻

通欽 初通延 稲葉在庸 初 平右衛門 後 権兵衛
母 酒井安藝守女
妻 松平隅太郎信成女
宝暦九己卯年十二月廿八日家督小普請○同十

庚辰年二月十八日御目見御礼相済○同十一辛巳
年八月十日西丸御書院番○安永己未
年十一月十一日御役御免○同六丁酉年
二月九日病死小普請○同七戊戌年十二月十二日
隠居○天明元辛丑年正月廿九日隠居號
病死○同…歳 法名宗[illegible]

通義 稲葉判右衛門
母 松平隅太郎信成女

妻山田新左衛門利昌女

安永七戊戌年十二月十二日家督小普請
月十五日……使者

綱貞
通泰　稲葉忠次郎　松下求馬組紀の養子

某　稲葉銀三郎
寛政四年十二月……出世

通雅　武蔵後之助
年月日……
武蔵……安徽……養子

勝資　伊丹兵次郎
年月日……伊丹因幡守……養子

女子　遠山主水景房の妻

女子

正成
正勝 ― 正則 ― 正往　大名日向守之家
　　　　　　　　正辰　主水正某家
　　　　　　　　通用　新太郎家
正次 ― 正能 ― 正篤　大膳正明家
　　　　　　　正之　主膳正知家
　　　正定　土岐太郎正鴻家

叢書陪擬山代

越智姓

稲葉

稲葉美濃守正則四男

稲葉若狭守　初名主水　後紀伊守

正辰

母　毛利甲斐守秀元女

妻　[illegible]尚[illegible]女

寛文四年甲辰年八月十日叙[illegible]

高三千石

采地　[illegible]

三丑丸

出雲父大隅守三男三千歳 十六歳ニ〇同月
廿二日 御目見〇 寛永十七年十二月廿五日 御小姓
組番入 同四年御書院番 被仰付 同十二年
御番〇同 延宝八庚申年四月廿八日父大隅守跡役被
仰付 同九〇辛酉年 五月 御目見ト
二丸御留守居 御役料 四百俵 御加増 御目見
御役 辞職〇同九年丙申年 十二月廿五日中奥御番
寄合 仕 家父大隅守遺跡 相續 〇天和二
癸亥年 正月廿七日 父大隅守遺知 新田共
都合二千五百石之内 相續〇同年 八月廿七日 御役御免

駿河守 郡代 在方 捌方 筋 相續 承
駿東郡 小田原 ○ 四郎 ○
駿東郡 之内 ○
駿河守 御代官 ○
駿東 ○
東 ○
河東郡 小田原 領 內 ニ 而 新田 高 二千石 分 加増 ○
當 國 〇 元禄六 癸酉年 十二月十八日 諸大夫〇 同九
丙子年 八月廿二日 職 辞 ○ 同年 十二月
年 十二月廿日 家督 ○ 同月 ○
者也
寄合 年 十二月 廿四日 御役 御免 ○ 同月
御前〇 同 十五 壬午年 十八月 廿八日 御小性組番頭
元禄十二年十二月十八日 〇宝永元 甲申年 正月廿一日 御留守居〇同
同 御役 〇 同 〇 ○ ○
御前 今 ○ 役 五月 廿日 西丸 御留守居〇同 七庚寅年
正月 晦日 御書院番頭〇正徳四甲午年 九月八日
病 身ニ付 御役〇同 享保 年 八月廿八日 御役 ○

出府留守居享保元丙申年十一月同日御府内火消
御府内火消同三戊戌年十二月廿八日病免寄合
同十二丁未年二月六日出仕四月十二日同十三戊申
年六月廿日病死七拾九歳湯島麟祥院に
葬 法名元毅 代々葬地とす

正長 初清庵 大和 菊之丞 小兵衛
実は小笠原出雲守近雄か二男正辰養子
となる 其女子を妻とす 元禄十三年七月
十二日死去す 常憲院殿御
勘気を蒙り病目見 又お許さるつり

女子 正長か妻となる後離婚す

某 之丞

信胤か女

享保十三戊申年二月廿七日御目見同年八月
十九日家督を継寄合 同年十二月十七日始て御目見 寛保元辛酉年十二月二日中
奥御小性となり同甲子年十二月廿日従五位下延享
元甲子年十月廿日
文昭院殿三十三回忌御法会のとき御霊屋にて花籠
被物の役を務むるにより同二乙丑年二月十二日
十七日に於て紅葉山
東照宮御百五十回忌御法会のとき八講中毎日
御宮にて花籠被物の役を務め衣冠にて勤仕中

御同年享保元丙申年十月同所御附ニ而
同所乙○月二戊戌年十二月廿八日病死 行年二十二
出雲守○同十二日申
葬湯島麟祥院

正室
元禄十三年七月廿二日御ひろ 大番
時七歳ニ而書遣を御かへ 松平甲斐守 二男
松平式部 女

後妻
松平式部 従補 女

享保十二戊申年二月廿五日御側衆〇同年八月
十九日寄合 同年十二月十二日御目見 寛保元辛酉年十二月一日御
奥御小姓〇同甲子年十一月廿七日於奥表〇延享
元甲子年十月○日
文照院様二十三回忌於増上寺御法会之節花籠
被下物之役衣冠ニ而相勤〇同二乙丑年二月十六日
十七日於紅葉山
東照大権現宮百五十回忌法華八講中奉行
御宮之花籠被下物之役并衣冠ニ而相勤申

於御府享保元丙申年十月御府内引越
御府内へ○同三戊戌年十二月廿八日病死年令
出雲寺○同十二己亥中
葬湯島麟祥院

一 寛保三癸亥年[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
元禄十三年十一月廿二日[illegible]

正邑 リニ 稲葉紀伊守 初 豊前 ニ改
母 家女
室 若年寄 青山信濃守女
後室 杉浦式部少輔女

享保十三戊申年二月廿七日御目見○同年八月
十九日家督相続○寛保元辛酉年十二月一日中（追而 同年十二月十六日従五位下）
奥御小性○同四甲子年十一月御役御免○延享
元甲子年十月卒
文昭院様三十三回忌於増上寺御法会之節花籠
被献之役衣冠ニ而相勤○同二乙丑年二月十六日
十七日於日光東照宮
東照大権現宮百三十回忌法華八講中御用
御宮ニ而花籠被献之役衣冠ニ而相勤○同中

日光東常ゟ御勤候ニ付一昨明和○同五戊辰
年正月於御宮ニ而
有章院様三十三回御忌御法會御導師被
物之御衣冠ニ而御勤○同年勅許使
六月於御靈前御名代御衣冠ニ而
給法御勤○寶暦元未年六月
有徳院様御葬送東叡山江 御遷幸之節供奉
御法會○同二壬申年六月
有徳院様一周御忌於東叡山御法會御導師被相勤之
候○同三癸酉年七月廿日ゟ日光准后御名代○同
六丙子年六月十八日ゟ大猷院様御代参并御法會ニ付
日光御登山七月於日光御法會八月十日帰府○同
年十二月廿日御書院當前○同十一辛巳年九
月於日光登府在番御法會○同十二壬午年十月
晦日帰府御礼○明和五戊子年六月於日光大猷
院様御法會○同年七月朔日ゟ大猷院様御法會望七
庚寅年九月於ゟ帰府御礼○同九壬辰年
正月於日光二十三回御法會○同年八月於日光二荒

禁裡への使○時に安永二癸巳年六月朔日
御前において同四乙未年大坂在番中母死去
三月七月朔日出仕正月同月廿八日出仕○時に
天明甲辰年九月十五日御前において○同六丁酉年
十二月十一日讃岐知行所の内二ヶ村用(?)に付上
下される上総○同七戊戌年四月朔日二條在
番御預○同年六月七日讃岐知行所の内替
地代地武蔵国足立郡の内にて二ヶ村下
○同八己亥年十月十五日御前において大病にて元年七

年四月十二日西丸御側○同九乙卯年十二月依老
隠居隠居 御前において御鷹之鳥拝領○同
年十二月廿日病死七十歳葬同寺之墓 法名宗璧

正富 稲葉熊之助
延享三寅年六月十七日病死

○初正温
正峯 稲葉主水 初隼人 主税之助 改任 被之(?)

母 竹内武兵衛利輔女

妻　稲葉丹後守正益女

延享己卯年二月廿五日惣領ニ成○宝暦十二壬午年二月廿八日　御目見於御座之間[illegible]

同年[illegible]

[illegible]○天明三癸卯年十二月廿七日家督

[illegible]合○同八戊申年二月廿七日隠居[illegible]　四十六才

正芳　稲葉[illegible]之助　千水

母　稲葉丹後守正益女

妻　[illegible]若狭守[illegible]女

[illegible]

天明八戊申年十二月廿七日家督　十七才　○同年

十二月廿六日　御目見

正寛　稲葉鉄次郎

女子二人

女子

一渓

- 丹波氏ニ養 大化家
- 東道 — 典道 — 一道 — 信道 依名氏家 大化
  - 通孝 — 高通 — 通義 — 伊勢西生家
  - 通任 — 石西通頼家

大和郡山住 織部正 榊原 少文流 高千石 家紋角折 五三桐 字

曽我 宗 名 榊原氏 紀伊守

一通 三男

通任 母ハ青山伯耆守忠俊ガ女 妻ハ稲葉淡路守紀通女

寛永十二年十二月十五日初見

寛文三年九月廿日叙爵 従五位下 周防守

同年 任 補

元文… 後、頼…

○
同十一年...
出仕と称す

本蔵 ... 御 ...

常 ... ○寛文四甲辰年九月 ... 三百俵 ...

因組 ... ○同年十二月 病死。○同 ...

[illegible]

□天和二年四月 ... [illegible] ...

元禄七年 ...

元子年十一月十日 隠居。○ 病死

元禄四年十二月 ... 大寄役加役。○宝永七寅年十二月 病死 ... 二百俵

隠居。○ 病死 八十五歳 号輪 東禅寺 ...

○母八紀通 ...

通次

□ 初平 郎

元禄 ... 年 ... 三百俵 ... 同年十二月 ... 同 ... 近習 ... ○

同 ... 年十二月 ... ○同年 ...

九月 ... 年 ... 州 ... ○同 ...

十六年 正月 ... 病死 ... 号 ... 寺 ... 自性

同年十二月 ... 病死

某 大吉

世 安

内藤 ... 始 熊 ... 郎

某 ... 郎

元禄十年十二月[illegible]
元禄十□年[illegible]年十二月[illegible]
享保十年六月[illegible]
享保九甲辰年十一月[illegible]病死 五十歳 法名[illegible]

通大
享保十巳年六月十一日[illegible]元文二[illegible]
年[illegible]七月[illegible]病死 二十三歳 法名宗圓

[illegible]
姫 紫藤 西郡

飯[illegible]
姫 波尾 [illegible]

通敬
元文二[illegible]年[illegible]四月廿七日病死 二十二歳 法名紹英

[illegible]
姫 松[illegible] [illegible]

通海
寛[illegible]年七月[illegible]
[illegible]子年十二月[illegible]

明和元年[illegible]
[illegible]病死 [illegible]年[illegible] 法名[illegible]

元禄十年十一月朔日　御目見　十二月
元禄十四年十二月[redacted]十九日　遠藤
享保十年六月家督相続
同年
保九年十二月病死　五十歳
法名　宝　聖

実ハ稲垣　養女
妻
　　　　娘　智房
　　　　　　　　同郡

西郷三年八月十六日　生ル
享保十五年六月二十日　家督○元文二年
同年八月十五日　病死
病死　二十六歳　同年
法名　宝園

敬負
　　　　娘　波花　　　　居

遠藤
元文二年四月十七日病死
同年十二月十五日御目見
稲垣下野守
家来　伴
　　　　　　　　　宝暦四年
年
十一月
二十三歳
法名　昭英

稲垣家臣　実ハ稲垣百官
　　　　　　娘　松姉
　　　　　　　　　　　　乃
遠藤
宝暦二年七月　家督
実ハ遠藤伊勢守家臣女
同年十二月十七日
寛政　子年十二月
十七

明和九年
壬辰十月　家督
十二月
同年
十二月　病死　年四十歳
法名　藤安
同年十二月　日
公

実安 阿部権之丞某次男 孫三郎 次

良頼 初信武 母ハ某氏 後ノ妻ハ通頼ヵ女 山高三[illegible]ヵ女 信昉ヵ女
元禄六年生 幼名[redacted]
宝永四年[illegible]月三日 [illegible]年十三才 同年
九月廿五日 継目御礼 同八年 [illegible]
[illegible]

女子 宝永三年 清寿院 [illegible] 離婚 [illegible]通頼ヵ妻

女子 保田平次郎正[illegible]ヵ妻

女子 小笠原[illegible]次郎[illegible]ヵ妻

某 振之助 母ハ信昉ヵ女

某 三郎[illegible] [illegible]通三男

某 [illegible]郎 [illegible]

女子 [illegible]八郎[illegible]ヵ西浦ヵ妻

女子

[illegible] 四十五才 十二年七月廿六日 [illegible]

孫三郎 [illegible]男子[illegible]

喜七郎 [illegible]

改 [illegible]

女子
女子
女子 [illegible]
女子 九月 [illegible]
女子 [illegible]
女子 [illegible]
[illegible]

次郎
一 [redacted]（たまつ信肪ヵ女）
[illegible] 三十才
[illegible] 八年 [illegible]

東照宮御代

諸侍所とよふハ幼年の者とまへくいふまハ幕か大名の御家能の相ち比丘尼ら侍従ハ幼稚の者を諸侍所といふり
諸奉行よまく呼名を比丘尼とよる

越智
稲葉
稲葉右京亮貞通二男　喜七 万石 郡上 藩
稲葉修理亮　兵部、殿 初角 三丈字
一上存　母ハ稲川備後守信義ヵ女
[redacted] 二万 [redacted] 四千石五千二石余

文ヶ辰歳 美濃恩八 偶ヶ御ヲり 文ヶ辰歳

慶長五年遠藤左馬助 [illegible] 常陸奈良山 [illegible] 文ノ辰歳 [illegible] 河通孝 [illegible] 諸 [illegible] 十二月 文ヶ [illegible]
嫡男 法名 [illegible]
殿府ヲ法の葉長十二年七月廿六日
依て 方 殘 [illegible] 死男子の [illegible] 公を [illegible]
長次郎 八ヶ年の [illegible] 男子 [illegible]

東照宮御代

越智姓

稲葉

稲葉右京亮貞通二男

稲葉修理亮

高七万石

政紋 丸ニ三ノ桐

[illegible]

通孝

母ハ織田備後守信秀ノ女

[illegible]二万[illegible]死

四千石ヨリ二万石ニ[illegible]

慶長六年[illegible]

[illegible]

駿府ニ於テ慶長十二年七月廿六日

依有人殺害ニテ死 男子ノ子ナシ[illegible]

[illegible]郎 [illegible]男子 [illegible]

[illegible]

乙次郎

一 たま 信昉ノ女

一 智 [illegible]

[illegible] 三十才

[illegible]八年[illegible]

[illegible]

[illegible] 慶長五年 [illegible]
九月 [illegible]
[illegible] 一万五千石 [illegible]
女の [illegible] と言ふ方
[illegible] 三郎 [illegible]
[illegible] 信長 [illegible]
也
一族 [illegible]
[illegible] にてえ
年 江府にて
[illegible] の母ハ織田信長の妹也

[illegible]
[illegible] 香 [illegible]
[illegible] 一家 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible] 氏女
[illegible] 元和七年七月 [illegible]
[illegible]

伊織田記ニ於理亮十六歳の時江戸安土の於城信長ニ
仕ふ事を許され此時四男ニ任し桐の紋及半国を
賜ふ[illegible]伴銘を給ふ商家の紋桐と三遣ニて附之
内蔵ニ於て云ふ桐の紋付庭さうさうなとなと云
あるところ十六家とつふとの信長生害ニ至
天正十年十六日家これら実録十年を生し
慶長十一年紀をうる時四十才ニ而足西国ニ
おとろひり浪ら三男与絶の旅ゐるなり
何くに四国ま住をとふものの武家ニ仕ニ
見ろ所ゐし出様しも絶ゐし　又桐
の紋ニ子とる落ありし家の紋也
かく猶之を旅のら今ま落ま　桐紋の
まゝ見ろ不知之ます様ニ家説の文を
まくも至庭までる所とも絡かしきる所也
ところなし

裏面白紙

国立公文書館
National Archives of Japan

能登守若ニテ遁去ヶ慶長五年ハ女のミこと申上しにハ[illegible]方
九月雅上八幡[illegible]ニ[illegible]
日十三日[illegible]
[illegible]
[illegible]君ニ謁ス
[illegible]一万五千石ヲ領ス
[illegible]仍テ[illegible]
[illegible]信長ニ[illegible]
一[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]御[illegible]

廣徳院

[illegible]

桂七条にて[illegible]

[illegible]年 江府[illegible]

[illegible]母ハ織田信長の妹[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

修理[illegible]母ハ信長の妹[illegible]
[illegible]修理[illegible]の[illegible]
[illegible]一[illegible]男子[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]大納言[illegible]
[illegible]
寛永八年
元和[illegible]年 七月[illegible]日
初ハ[illegible]代[illegible]帝

なれハ女のこゝろとしにたかひたまふ方
あまたおはしましけるに此節より御遊行無垂まして

東武實録
元和四年稲葉丁たまふ　両君に謁ス
父修理亮豊後国木付郡之内一万五千石ヲ領ス
慶長九年父卒時ゟ十たまへ僅に　ゟ才仍テ叔父彦六
父か領地を随是ゟの十たまへ京師に幽隠しまく
寺年江戸ゟ出まり　尚君に又湯まゐる若るり
然るに此旨ゟ見この役取ゟさし

廣佐阼

指七歳にてえ
右り十二年稲葉佐渡守

寄附侶
父死後出て返ゟ許よ信り難
寛永元年初見書院番
後慶長十四石保ゟり…
十年二月ゟり…
不二度くたゝ…
とゝく七ゟゟゟ　十七年
虎九

和八年江府まかり
大御臺所の御母ハ織田信長の妹なれ

其　稲之助
紀伊大納言
頼宣卿に

修理明説ゟ父貞通卒去年
辛彦六郎領ス…
…一万石拝領修理亮に一万
…
…
…
…
…
…

修理亮母ハ信長の妹なれハ中従ゟを
しく香苑之より修理亮の御ゟ之
ゟれ一万石男子無けれハ今ゟ又
ゟ子ゟゟしゟゟ若衆ゟゟ思召
有稲葉ゟゟゟしゟゟ上ゟ
迎御目ゟゟ之程ゟゟゟ酒井
雅楽頭忠世大御所様御年寄
御ゟゟ年ゟし　寛永八年　元和七年七月八日
切人…ゟ稲葉ゟゟ代ゟ帝

なれハ女のことゆへよしにいたし候方
寄合ニ成候ニ付御役御免ニ而
正保二年六月卒

稲葉十左衛門　政佐
今ハ又右衛門
父九郎左衛門後ニ丹後守
和八年　江府ニ来り
大河内茂左衛門母ハ織田信長の妹なり

其
女子

修理亮母ハ信長の妹なれハ其由緒を
以て書院ニ入り修理亮の次男と
して初一戸田男子ニ付り　今又
男子ハなし　其家ニ絶候ニ付　思召
ニ而蔵人にかよハせ申しと申上ても
近所同前ニ立候ニ付　酒井
雅楽頭大炊頭ニ仰付られ
御目見を遂る　寛永八年　元和七年七月朔日
初而御目見　其後代々数寄屋

稲葉正勝の記とあるものは[illegible]
高通二万五千石と彦六郎に譲与せられ後弟和泉守流を[illegible]
[illegible]に通照二才[illegible]彦六郎又春吉[illegible]後[illegible]
[illegible]寛永[illegible]都[illegible]彦六郎是を[illegible]
[illegible]館地と定家を継り元和三年
[illegible]五万六千石[illegible]
[illegible]台徳院[illegible]彦六郎[illegible]
[illegible]又元和八年江戸[illegible]
[illegible]織田[illegible]信長[illegible]
[illegible]元和八年[illegible]寛永元年[illegible]
[illegible]

家譜元和八年[illegible]書院番[illegible]
重長寛永二年[illegible]書院番[illegible]
又[illegible]元和九年[illegible]小性組[illegible]堀田[illegible]
堀田[illegible]寛永三年[illegible]小性組[illegible]
[illegible]
元和九年[redacted][illegible]元和九年寛永九年[illegible]
寛永三年[illegible]寛永元年[illegible]寛永三年[illegible]書院番[illegible]
[illegible]
[redacted][illegible]三年[illegible]小性組[illegible]堀田[illegible]
堀田[illegible]元和[illegible]小性組[illegible]
組[illegible]慶安[illegible]寛永九年[illegible]
六番[illegible]書院組八組大番[illegible]元和元年[illegible]寛永九年[illegible]
寛永九年[illegible]小性組[illegible]
今[illegible]年月日[illegible]
家乃[illegible]年月[illegible]東武実紀寛永三年[illegible]小性組[illegible]書院[illegible]
[illegible]

大御番衆　[illegible]
慶安五年[illegible]同年[illegible]小性組
寛永十年加増[illegible]百石[illegible]
本[illegible]七百石同十七年病死

[illegible]
[illegible]暦二年六月十日死[illegible]
浅草海禅寺葬　法名[illegible]

[illegible]番札筋[illegible]
[illegible]

此ヲ重候之
不可有之候様

新規召出さる旅所
大御番所ゟ支張御根差缺之銀銭
枚御役二十寿院○同年 御書院番
○同九年 御小姓組 緒
番衆ヨリ御役
大御番所ゟ今日支御役二十俵
いまた旅不自由たるへ れい
大目付場所御勘定人 番衆足

此頭見るに被下 彼是仕御府
父俊
御番 御伝 還御
大御番衆 御手
慶長 百俵 同年
○寛永十年 百石
不 七百石 同十七年 病死

乃見名
載 ○明暦二年十月十日死
浅草海禅寺葬 法名德潤

通義 稲葉七五郎
母某氏 實ハ大久保勘右衛門長重カ女
明暦二年生 [illegible] 遂跡ヲ継 ○ 寛文三年 [illegible] 書院番 ○ 宝永二年十月十六日死 年五十 法名道合

通政 稲葉小十郎 初彦十郎
別ニ家ヲ起シ 彦七郎某ニ
祖トシ 彦七郎ト称ス
家断絶ス

女子
[illegible]八郎右衛門[illegible]妻

女子
山村甚太夫良[illegible]妻

女子
大渡左馬頼利カ妻

通義　稲葉七兵衛

母不知

妻ハ大久保勘右衛門長重カ女

明暦二年十二月廿六日遺跡を継　御書院番ヲ勤ム　寛

文三年十月十七日御書院番ヲ勤ム　寛文二之

年十月十六日死ス年某　法名道金

通政　稲葉小勘左衛門　母彦十郎女

別ニ家ヲ立二百俵賜ハリ

同月某日

女子　西山八郎兵衛ニ嫁ス

女子　山村甚大夫定好ニ嫁ス

女子　大須賀某妻

安通 稲葉市郎兵衛 初八十郎

母女也 寛文六年丙午八月二十一日生 初見寛文十年八月

宝永二年十二月十二日家継○天和三

女子 織田宇源貞則か妻

年閏八月廿一日書院番○元禄七年七月病免○享保十年九月廿一日致仕○同廿年七月廿六日死 七十一歳 法名 浅草海禅寺に葬

栄通 稲葉小十郎

母女也 享保十年九月廿二日家督○同十二年十一月廿七日初見

種通 七左衛門 先栄通か養子となる

年六月十二日書院番○元文元年

五月廿日死ニ稲葉家菩提寺葬 法名玄後

種通

実母 稲葉七左衛門 後 [illegible]十郎

元文元年八月二日生 [illegible] 遠藤

同二年十二月日 [illegible] 小性組 [illegible] 同

三年九月七日死ニ稲葉家菩提寺

葬 法名玄宏

[illegible]

寛政二年二月 [illegible] 稲葉 [illegible]
[illegible]
[illegible] 稲葉 [illegible]
[illegible]

[illegible]
寛政二年二月 [illegible] 稲葉 [illegible]
[illegible]

[illegible]

重通

[illegible] 五郎 [illegible]

遠藤ト称 十一才

同 [illegible] 宝暦十

[illegible] 性組 [illegible] 宝暦十

[illegible] 明和元

[illegible]

年 [illegible] 菩提寺

榮門寺葬　法名[illegible]

後　喜十郎

千代子[illegible]遺跡○
御小姓組○同
[illegible]榮門寺

一　寛延二年十二月[illegible]

稲葉小兵衛　万五郎　作蔵

通春

初春通

母某氏

元文三年十二月四日[illegible]遺跡ヲ継十一才　寛延
二年四月四日御小姓組○宝暦十
年正月廿六日[illegible]明和元
年閏十二月九日[illegible]天明
七年六月十二日死　六十[illegible]榮門寺
葬　法浄性[illegible]

[illegible]

稲葉伊織
家旧記

一 通清 熊之助 八三郎

安永五年八月廿六日[illegible]
天明六年八月廿四日家督 寛政
[illegible]之所を[illegible] 三年[illegible]
[illegible]
六月[illegible]年十二月十六日[illegible]
[illegible]

寛政二年十二月廿二日 八三郎
[illegible]

稲葉倖織

家旧記

通生　稲葉倖織　八三郎

母ハ平井氏

天明七年八月六日見習寛政

二年二月廿三日家督相続

御切米百石

六月四日免同年十一月廿六日甲府

勤番小普請

寛政二年二月二十三日

八三郎

[illegible]

極楽寺織部九郎四郎之事
本家は丈夫右衛門に子二人ありけるに兄は極楽寺殿
奥殿乃縁者婦女極楽寺殿の所に出入
信下働候而信長と沙汰男忠次所女子二人
諫奥殿のうち妻被信長公御年に二十て
こそのら四妹子を下されけりに候子三
人あり極楽寺殿後見を次男極楽寺太郎
後大坂所陣に職中に其く討死を女子
壱人織田に嫁妻後其後嫁之是也

東路ニ従ひて修理亮十六歳のとし
阿波守安芸守此城に登りて行ゆくゝ元服を
二月四日に俗名を桐ヶ紋ハ末国光の脇
指を揃へてこぶしの如く曲り輪ヶ紋桐を
角の如く二つ文字を附る也同紋同席を以て
いはゆる桐の紋は付かたし関ヶ原陣
出来ハ家康公出陣之刻より北之方
のこりて大谷石田方なりけるに依て鯨
難儀ありし也然れハ家康公へ志をして

大谷の城ニ籠りて二ノ丸をうけとる石田
方に成る　家康公へ帰服して使者をさし
急行し其由を申したるに時に守丸を切ゝく
出陣して合戦の時節に此の城を修覧
と被成けるに二の丸かた揃て来て信長同く
関東助中将に仕へ後に羽柴へ参る同年
参陣の後には本陣行き申す所存也七人
其後に兵庫の時に同國の今城へ参る八角
國乃空虚行の事云々　大谷石田方とし

猶押寄諫を致けり已て危くなる人なりける
しかれ共彼らかしの儘に敵ハ讒人と出して
此和睦あるへき由を陳てしかれ共修理亮
はまくいかんとしく讒人とて出や難義し
且其外ハ母妹を搦殺し妹を枕て討死
せんとみけしうけ出し戦ひけるに用
小太山の城へ浪人をあり合れ共右京大夫
急ぎて立返つしくの後もちより敵と追掃ける
其時右京よりしけれハ近衛今ま蔵度

五人大軍を得しく世知れ所に出張し
打出のたまゝ自身諸ふして鋭ぐ敵を追
掃し夏前代未聞のとぞ云ひけり襄
薬として出陣信玄か伊与ヲ攻取し
有りし所々を佩て代し退治しける
伊与ハ具足そ是とも遣して其上已に
修理亮が其の身は西国に赴ておきて
帰りて浪すして七人の者のみも諸ふ
感状謹て其人をつかハしける南国に林宗家つかハ

いふものありて是は信長の家臣林佐渡守
とし尾張清須の城をあつかり信長公四十七
年の時に逆心をくはたてし故によりて
天下をとらせ給へるのち佐渡守を追放し
たまふ其子なかば浪流して秀吉の時
節一分をもとめて西国に行て参父
かりしに宗鑑の一揆と号して既に依
て多屋張殿と云京に参て宗鑑の子孫
惣兵衛称をもって一所にまかりけるの

惣兵衛秀政所に名字をと申しけり
其より林をもって稲葉と改め惣兵衛と
佐渡守と云しか稲葉の後に男子二人あり稲葉
八兵衛その子八兵衛次男清兵衛
福田叔父某也佐渡守のち兵庫助
後に備後守と申しける是ハ一揆見利殿備
勝かり縁を組て大に縁組して有之
家老其外自身に相応して後に丹後守になりて
京統に大坂前縁組して後稲葉八兵衛等

子稲葉ハ宗安越前守ニ任ス後松平土佐守妹
を娶る二男ハ後に稲葉伊勢守と云稲葉ハ石
見守ハ殿中ニをいて堀田[筑前]殺ス、しかるに其果此
家ハ絶なり丹後守ハ子稲葉兵部少輔ハ淡路守
下伊豆ニ任セしを天下ハ桃(?)扶持職より浪人して
参府(?)慶しまて丹後守京極(?)西国より
次男ハ相(?)守三男毛利ハ紀伊四男正之水又男太学
正井式部少ニ任セ之土井兵庫頭養子なり其
後右京大夫ニ任ありて丹後宮津(?)を領ス

当(?)根の后をは寿見宮津にくらつの事ハ長ハ
大りニ万遊ちを浪人紹(?)伝(?)後ハ小寺氏事
化国所をと仲のへもくしいより婚(?)んちより
急(?)徳(?)残し云ちを建庭有り鹿(?)ニ所與(?)候
其年ハ八二ち丈万石の内を三万五千石修理
亮ニ一万五千石権(?)河(?)ハ謀ニをいて
権現様より拝領を候同の礼ニ上て後ハ
文代ニ乱勤るなり兵(?)六所子民部少輔ニ至(?)
子能登守次男兵(?)太馬(?)能登守子左京亮云(?)

子細ハある右京ハ云々元服不背と云々子とし修理
亮元宗ハ長十三年十月廿六日近江志賀付士文
稲葉十左衛門を以て二葉細かなりふるく
修理亮知行を方不分右伯父義六郎ニ
横領せられし国畠の身となりて京都へ
流浪せし 張六兵衛ハ元和八壬戌改易ニ及伊賀城
下ハかまり 本庄様ハ浅井備前守らの妾
女ニ修理亮ニ恨ありし依て田存知の節ハ
仕へ出仕せし女を此香蔵主と云尼なれ

様子具ニ申上けれハ修理亮ニハ云甲斐
義六郎ヲ上意を以て誅し万事を以て尊
も無されたしと又男子有けれハ六男丹来
子を以て右京か奸計義右衛門か子供けれハ申上云
後に子孫ありしが終ニ其後又あれちかし
前田小方か頼立てゝ後名ヲ作州酒井雅楽
頭並大炊頭まて作州と云香蔵主を以
て仰下され遣之 上聞元和八壬戌年七月
八日松平越前守様ハ虎ノ華一枚(校)今ニ有代 御筆様

今ニ代を以て四月見仕候節常御相応
四ヶ年振仕候　大御台様ハ旅中御供ニ参勤
仕候ニ付大御前浪士役附被成大組頭を将軍様
四月廿八日安藤右京亮組御書院番勤御勤なり
翌年四月流罪ニ成候ものハ是ハ四百五ヶ年勤
相勤候振御宿仕候なお
之を四月迄御使ニ付　大御台様香薇
是ニ付ても御供を被仰付候ニ付御勝手ニ仕候
被仰渡候其時ニ四月仕候御家仕候つく

大御台様より香薇之を以今百五日ニ付
二十振候仕切御ニ遣シ万不自由ニ候
見届候振ニ相田和泉守又相田就左衛門
大目付役ニ付香薇之を以四拾石之恩
御切ニ候付又飯田亮知行之候四拾之
之候振ニ申候ても候ニ付御知行御
之候　大御台様御附ニ被仰付候
四切米五百俵ニ候候後知行二百石
被成候七百石之嘉永四年小性組ニ元禄九年

一　父　剣持〻〻　巳番福田加賀守組〻〻相勤

其後病気ニ付宝永七年小普請組酒井

紀伊守組ニ入享保二年〻〻明暦二年申

六月十日逝去仕候ニ而御座候稲葉権之丞

紀伊大納言様ニ相勤罷在候嫡子稲葉八蔵

一　養次男稲葉源太左衛門　御座候三男稲葉

八郎右衛門　御座候嫡子七左衛門　御座候

子市郎右衛門　養子ニ而御座候二男勘左衛門　御座候

女子一人　前田八郎左衛門妻　前後十九歳の時

寛安三寅九月十二日　　石黒信濃様

安芸守様　御目見　　安芸守様へ差附

一　小性組

国立公文書館
National Archives of Japan

台徳院殿御代

越智姓
河野支流
稲葉

一高二千五百石
家紋折敷ニ
三文字
三ノ四世葉

孝霊天皇第三ノ皇子子孫後伊予守
三世玉純より河野氏を号す 河野十九代孫越智
四ノ左衛門尉通種林ヲ改 同十七代後通
正成稲葉ヲ改 正成ノ三ノ男

正次 八左衛門
母ハ稲葉兵庫頭重通ノ女

元和四戊午年五月 辰巳ノ間ヨリ天下ニ出ル

○寛永五戊辰年五月廿六日死 二十八歳
深川雲光院ニ葬ル 法名夏徹

八左衛門 初市之丞

正定 初別

正純

初市之丞 亀之助 治左衛門 清左衛門 母某知 稲葉喜太郎正陽

父正次死後 米津勘兵衛治左衛門ニ依

幼少ニ付正勝ニ養ハル 稲葉 相続 致ス

寛文四年五月廿五日人
… 治左衛門 稲葉 …
… 勤ム …
… 死ス

八左衛門 治左衛門

丹後守 … 父 …

治左衛門 二十 … 仕 …

… 寛文 …

○寛永二乙丑年五月廿九日死 … 葬ル

又 …

右信文 …

めくれず

○寛永五戊辰年四月廿六日死 二十八歳

深川雲光院ニ葬ル 法名夏徹

八左衛門 初市左衛門

正久 [illegible]

母ハ[illegible] 妻ハ杉本[illegible]

父宗元死後[illegible]治左衛門[illegible]

[illegible]

寛文四年[illegible]月[illegible]人 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

治左衛門二千石[illegible]

[illegible]上野[illegible]

[illegible]

右[illegible]記事

[illegible]

又[illegible]

○寛文[illegible]

[illegible]

[illegible]八[illegible]十月[illegible]

二十五年[illegible]月[illegible]死 六十[illegible]

国立公文書館 National Archives of Japan

正篤　市右衛門　初　長太郎

母ハ正綱ヵ女
妻ハ[illegible]之[illegible]女
後妻ハ[illegible]長[illegible]女

寛文元年七月生る　永井伊賀守[illegible]初見
[illegible]二[illegible]同十二年[illegible]
[illegible]元禄二年十二月[illegible]三百俵
正某　長十郎
女子　[illegible]
正之　長太郎
稲葉主税正[illegible]祖
[illegible]
[illegible]
[illegible]元禄
十二月[illegible]
[illegible]同[illegible]法名[illegible]

伊左衛門[illegible]忠常[illegible]二男[illegible]
[illegible]被[illegible]忠常[illegible]
[illegible]
[illegible]

正紀

伊左衛門[illegible]
彦三郎　主殿　初　[illegible]

忠常[illegible]男
元禄[illegible]年[illegible]八月[illegible]
正篤[illegible]同[illegible]十二月[illegible]
永井伊賀守[illegible]同十[illegible]
同二月[illegible]九[illegible]同[illegible]同[illegible]
[illegible]同七月[illegible]
[illegible]

[illegible]勤[illegible]
[illegible]若[illegible]

常[illegible]院[illegible]
[illegible]院殿[illegible]
[illegible]

由篤　市左衛門　初長左衛門

母ハ正綱か女
妻ハ[illegible]か女　後妻ハ二代将長富か女

寛文元年七月十五日於御座之間初見

[illegible]家督[illegible]同十二月[illegible]

[illegible]延宝二年十二月十八日[illegible]三百俵

[illegible]

[redacted]

十二月廿七日[illegible]隠居[illegible]同年

八月廿五日死　五十五歳　法名[illegible]洞園

某　長十郎

女子　[illegible]

新五　初[illegible]　後伊右衛門　[illegible]

喜三郎　彦三郎　主殿

寛[illegible]年[illegible]八月[illegible]

[illegible]同六[illegible]十二月[illegible]

[illegible]同十一月[illegible]

同二月[illegible]九日[illegible]同四月[illegible]

[illegible]同七月[illegible]

御勤仕[illegible]

[illegible]

[illegible]

常[illegible]

同二十二年後六月十一日所病氣ニ付二十六才

然ル所紀州ヨリ同年十月所願ノ付同年

正月十日同年十一月所跡式相續

正辰　八郎左衛門

初正武　母ハ長尾ノ女

後ニ改 … 輝ノ女

元禄十二年十二月九日遺跡ヲ継 ○ 同 … 二十一歳

正時　権三郎

稲葉主膳正家臣

女子

稲葉内膳長門ノ妻

女子

…　…

年二十三法名 …

初喜心　母ハ三上 … 女

享保二丁酉十二月 … 遺跡ヲ継 十二才 ○ 同 …

寛延九月十日 … ○ 同十 … 二年

… 年 … ○ 同二年 … 八月八日

死 … 年二十法名 …

女子

〇二十三歳後元文四未年十二月病気ニ付六十三才
然ル所紀州ニ付以後年十月願ニ付閑居
五十一[illegible]以後縁

一 女子
八才ニ而[illegible]

一 女子
諱[illegible] 母ハ長冨氏女

一 女子
諱[illegible]
宝暦九年十月初入〇同年十二月十一日古郷
遠路ニ付縁組〇二十三歳
延享三年[illegible]〇享保二

丁酉五月十二日死 円明寺
年二十五 法名円徹

一 女子
初喜之 母二十二所
[illegible]
享保二十丁酉十一月[illegible]遠路ニ付縁組〇十二才〇同年
宝暦九年十月初入〇同十二己卯年
[illegible]〇同二年己卯八月十日
死 円明寺
年二十 法名[illegible]

一 女子

元甚八　初[illegible]母　吉[illegible]　七三郎　元甚十　[illegible]

正存

正昌　正脩　正村

享保二十乙卯　十二月[illegible]○元文六　八月遠江と號　同年十二才

十一月[illegible]　同十年十二月[illegible]　同月十六日[illegible]

[illegible]

同十三年四月三日
[illegible]西丸御附　十二年
[illegible]年
十月十六日[illegible]
同十二[illegible]
[illegible]
[illegible]
同十三[illegible]
[illegible]年[illegible]日[illegible]

[illegible]

又丙申　十二月十四日

[illegible]

[illegible]十月八日[illegible]死　年二十一

法名　[illegible]

[illegible]

某　手沢　早世

女子　皆川[illegible]

正[illegible]　七三郎　早世　十一才

女子　[illegible]　遠[illegible]とつき　十八才

[illegible]太膳

同十一年甲辰三月
[illegible]五月[illegible]十一年
[illegible]十二月十六日[illegible]
同十二[illegible]
[illegible]安永[illegible]
[illegible]
同十二[illegible]
五年[illegible]日[illegible]

[illegible]

正存（ヨシ）
主水　初 [illegible]　七三郎　主計　[illegible]
正昌　正脩　正村
享保二年丁卯　十二月[redacted]　宝暦六
八月遠江と號
十二月[illegible]
同十年十二月[illegible]
[illegible]
丙申　十二月十四日
出羽守[illegible]
七十七　七月八日
十月[illegible]死　年二十一
法名一勇徹

正安　十三郎
安子[illegible]
某
[illegible]

正順（トシ）
八兵衛　大[illegible]助　大膳
初正苗　正廣
母ハ[illegible]
寛政元己酉　十二月[illegible]　遠江と[illegible]　十八才
四月十五日卯刻

寛政家譜云大保入道の子孫なりといへとも不詳並信
貞弘八重光貞豊ありといへとも伊勢守宗
貞経より…貞経が先に出つ附
貞宣の養子と為すといへとも其嫡庶といふこと是
伊勢守貞親か譜に…貞宣と貞宣は
後の上位…其代…といふ
其子孫…尾張守貞…三男伊勢守
後の男者の貞…とも…貞経とし
其子を上…貞弘とも其子を
上…貞…附…貞先八…所なりと之
とも…貞…庶流…難…
貞…家と…所…先祖…
系考…貞…又祖父…
祖家より出る也…是又
寛永諸家系…大保入道より出るとも
…考…所…
所…

慈光院殿御代
酒智性 高五百石
稲葉 寄合 三世也 [redacted]
[redacted]
[redacted]稲葉八左衛門正次惣領八左衛門正
能三男
稲葉長右衛門
正之（ノリ）
寛文九年[redacted]二月七日初…
母は松平左京大夫之綱女
室は河野權之丞氏吉女
元禄二年十二月十日…三百俵
貞享二年乙丑十一月…又

考古說…

[illegible]

百不…
三世…

本…

能三…

正之

寛文

…貞享二乙丑十月…文

正能ヶ遺跡常法寺
志辟所[illegible]

[illegible]月五日[illegible]知○元禄十丁丑二
月十六日死 深川霊巌寺葬 法名自休

正房

松之助 初伝右衛門 多宮 数馬

宝永元年二月二十二日遺物番 子年
十六歳 桐間御番 十月二十日[illegible]六年
二月廿一日[illegible]四月十五日[illegible]
進物番 正徳二年六月[illegible]
十五日布衣

[illegible]十六日 桐之間[illegible]○同年十二月
[illegible]小納戸○正徳元辛卯六月廿一日[illegible]
[illegible]十二月[illegible]○[illegible]

母八[illegible]多氏[illegible]女
[illegible]七十[illegible]女
[illegible]長[illegible]女
[illegible]

組頭○同二壬辰六月廿六日[illegible]
○享保十二丁未七月十二日[illegible]
○同月廿九日[illegible]○同年
十二月十八日[illegible]○同十三戊申正月
廿日[illegible]
巳月廿九日[illegible]
今[illegible]○享保[illegible]七月
廿九日[illegible]○[illegible]
年七十[illegible]同寺 法名[illegible]

正寿

松之助
[illegible]

正徳五年十二月十七日[illegible]享保四年
七月二十七日死

正統ノ遺跡掌法ニ
志臂界ノ…

五百石 知 ○元禄十丁丑二
月廿六日死 深川霊巌寺ニ葬 法名 白休

正房

初御目見 … 数馬

元禄二年…

元禄六癸酉十二月九日 …継…

○同年丁丑七月十一日 … ○元禄七庚
辰六月十六日 … ○同年十一月 …
小納戸 ○正徳元辛卯二月廿一日 …

組頭 ○同二壬辰六月廿二日 …
○享保十二丁未七月十二日 …
○同月廿九日 …
十二月十八日 …
…
…
○同十八年 …
…
…十月十二日死

物しろ月
享保九年十二月廿六
御小性組二組
三男勝御書院
同十年六月朔日
二ノ丸御小性組二組
寛政同五月[illegible]
寛政御[illegible]御小性組[illegible]
新番[illegible]ニ[illegible]

正勝 八左衛門
母ハ[illegible] 妻ハ岡田藤左衛門昌盛ヵ女
妻ハ八[illegible]正房ヵ女

女子 小菅[illegible]ニ嫁ス
女子 正勝ヵ妻

[illegible]ニ[illegible]二男 若[illegible]
十八年八月九日初テ御目見
寛延元年七月廿六日西丸御小性組ニ列ス（同年十二月廿五日蔵米[illegible]）
[illegible]番[illegible]同十九
甲寅十月[illegible]日[illegible]死 二十九 法名泰心

正武
伊織 細[illegible] 右膳
母ハ正房ヵ女
妻ハ杉浦八郎五郎勝照ヵ女
宝暦十九甲戌十二月十二日御小性組ニ列ス
（祖父ノ遺跡ヲ継 二年三月廿三日初テ見）
保元年[illegible]十二月廿[illegible]

延享二年二月
十九日西丸御小性組
寛延元年十二月
[illegible]大[illegible]府[illegible]
御[illegible]二年[illegible]
廿[illegible]月御小性組ニ
年十二月十八日[illegible]
宝暦元年七月十三日一統[illegible]門七年

十二月[illegible]
御小納戸[illegible]門十三年
[illegible]一統[illegible]
又[illegible]勤仕
[illegible]
宝暦十二年七月九日死 四十二 法名実應

同
大[illegible]
[illegible]

△
同年十二月[illegible]
明和八年十[illegible]
[illegible]
[illegible]三[illegible]

正朝
[illegible]
母ハ[illegible]女

集[illegible] 五郎
清[illegible] 大助
妻ハ[illegible]本[illegible]政晴ヵ養女
二三千十月五日[illegible]同年十二月[illegible]日[illegible]
[illegible]
同六年二月廿二[illegible]
[illegible]△

同
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
同六年壬十月[illegible]
上ヶ書
[illegible]
同八年[illegible]三郎

物(?)ヨリ之(?)
享保九年十二月廿六日
西丸小性組二組
〇〇〇〇〇〇
同十年六月朔日
二丸(?)小性組二組
〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇小性組〇〇
新番〇〇〇〇〇〇

母ハ 同院殿[redacted] 実ハ八〇正房ノ女

〇恵

実ハ〇〇〇〇三男 若〇

享保六年八月九日初御目見
享保九甲辰十一月廿六日西丸小性組
同年十二月十五日〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇〇〇番〇〇〇〇同十九

甲寅十月十三日〇〇〇〇死 二十九 〇〇〇〇寺 法名泰心

伊勝ト 初称 お〇ト

正〇二年十二月
十九日西丸御小性組
宣〇元年十二月
〇〇〇大〇〇〇〇〇〇
同〇〇二年〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇小性〇〇
年十二月〇〇〇〇〇
元〇元年〇〇〇〇〇一統〇〇〇〇〇

〇氏

母ハ正房ノ女
実ハ松浦八〇〇〇〇勝照ノ女

享保十九甲寅十二月十二日西丸小性組の党
祖父の〇〇と〇〇
二年三月廿三日初見

〇〇〇〇〇十二月〇〇〇〇〇

△
十二月〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇一統〇〇〇〇

同
大〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
文二〇〇〇〇

宝暦十二二年十一月九日死 〇年十二〇〇〇〇
法名実〇

正朝

〇〇

〇〇 清〇 大〇

〇〇 〇統

〇勝照ノ女
〇〇〇〇〇〇 改晴ノ〇女
同年十二月〇〇〇〇〇
二〇年十月〇〇〇〇〇〇〇〇
同六年十二月〇〇

〇六月〇〇〇西丸〇〇〇〇〇△

上〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇

△
同年十二月〇
〇〇八年十〇
〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇安〇
同〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇
同六年〇〇〇〇
一統〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇
同年〇〇〇〇西丸〇〇〇〇六年壬十月〇〇〇〇〇〇〇〇
同八年〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇三郎

〇〇〇〇

物[illegible]
享保九年十二月[illegible]
西丸小性組[illegible]
[illegible]
同十六年六月朔日
三丸御小性組[illegible]
[illegible]
新番[illegible]

久豊

某 実ハ川[illegible]三男
享保六年八月九日初テ御目見
享保九甲辰七月廿六日西丸小性組
同年十二月廿三日布衣
[illegible]御小納戸[illegible]番頭[illegible]同十九
甲寅十月十三日[illegible]死 二十九 法名泰心

女 伊勢守 細[illegible]
[illegible]

正武
母ハ正房が女
妻ハ松浦八郎五兵衛勝照が女
享保十九甲寅十二月廿二日遺跡 祖父の遺跡を継 小性組[illegible]
[illegible]
宝暦元年十一月廿三日 一統[illegible]同十二年

十二月[illegible]
[illegible]一統[illegible]同七年
[illegible]
宝暦十二壬午年七月九日死 四十二 [illegible]
法名実[illegible]

△
同年十二月十八日布衣
明和八年十二月[illegible]
[illegible]同三安永二年

[illegible]

女 縫殿[illegible]女
妻ハ 依之本多[illegible] 改 晴[illegible]女
宝暦十二壬午十月[illegible]同年十二月廿[illegible]日御目見[illegible]
[illegible]同六年二月[illegible]
戊子[illegible]小性組の寄合[illegible]
[illegible]

[illegible]
一統[illegible]
同六年[illegible]
[illegible]年[illegible]壬十月[illegible]
同八年[illegible]依之本多[illegible]三郎

[illegible]

物もろ日
享保九年十二月廿六日
御小性組二組
若見……
同十六年六月朝与
二丸御小性組二組
西丸御小性組……
新番……

正武
一正春　稲葉主殿……
宝暦十二年八月廿……

實……三男
享保六年八月九日……
享保九甲辰七月廿六日　西丸小性組……
……番……同十九
甲寅十月十三日……死　……
法名泰心
伊勢守　初……

正武
母　八正房ヵ女
妻　杉浦八郎五郎……　勝照女
享保十九甲寅十二月十二日……小性組……
祖父……二年三月廿三日……

正武二年二月
十六日西丸御小性組
宝暦元年十二月
大御番……
同二年……
廿八日　同小性……
年十二月廿八日……
宝暦元年十月十二日一統……同七年

十二月……
小納戸……同五年……
……一統……
宝暦十二年七月九日死　四年……
法名実……
……
……
妻
……女
……
同年十二月……
宝暦十二年十月……
門年十二月廿八日……
明和八年十二月……
安永二年
……
……小納戸……
同八年……
……
……年……十月……
……九……
同六年二月……
……
上書
此……

[illegible]

一 家督大番 [illegible] 寛政八年十二月 [illegible]

正方 三十

母ハ政晴ガ養女

天明 [illegible] 十二月 [illegible] 初見 寛政十年 [illegible]

○春恭院 [illegible]

[illegible]

女子

某 氏

女子 三浦 [illegible] 正興ガ女

清 [illegible]

女子

女子

○

大番院 [illegible]

[illegible]

[illegible]

次二男

正寛

初 [illegible]

母ハ某氏

妻ハ春日 [illegible] 女

父正次 [illegible]

正 [illegible]

十二年十二月 [illegible]

[illegible]

天明[illegible]寛政十年
十二月[illegible]院[illegible]
◎孝恭院殿[illegible]
[illegible]

女子
某 武五郎 [illegible]氏
女子 三浦[illegible]女
清水[illegible]
女子
女子

○大猷院殿御代 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

次男

正完 初名[illegible] 妻ハ春日[illegible]女

父正次[illegible]
正[illegible]

十二年十二月[illegible]
[illegible]

国立公文書館 National Archives of Japan

一家附大目付様見分済 寛政八年十二月十六日出仕

政方 三十

幼名[illegible] 母ハ政晴ガ養女

天明五年五月廿八日初テ御目見 寛政十年

十二月廿七日出[illegible]院[illegible] 三十二歳

○春恭院[illegible]御[illegible]道全[illegible]

[illegible]

[illegible]

女子

某 武五郎

隆氏

女子 三浦喜多八妻[illegible]興ガ女

清央[illegible]

女子

女子

此講[illegible]

[illegible]

○

大[illegible]院[illegible]

[illegible]

某 [illegible] 母ハ[illegible]

[illegible]

十二年十二月[illegible]

[illegible]

三世

[illegible]

慶安三年九月廿二日
大組ニ被仰付

寛文元年十月二日

圓再礼
寛文七年壬二月廿八日
寛文九年七月廿六日

同二十癸未六月十八日

寛文元年

丙午六月八日

延宝七己未十一月十九日死

正忠
寛文七年四月二十八日
延宝七己未十二月
同八庚申

正羽

正服
宮崎善兵衛重清
丙子七月
元禄九
宝永二乙酉
同己丁亥
八月廿八日

1

[illegible]

寛永十五年十二月[illegible]

名内匠 ○同二十癸未六月十六日[illegible]

⊗ ○慶安三年七月[illegible]

○[illegible]○[illegible]三

[illegible]

寛文元年十月二日[illegible]

[illegible]

西年六月八日[illegible]○同七[illegible]

巡見人○同九己酉七月十一日[illegible]

○同十二年亥六月十六日[illegible]目付○正

宝七己未十二月十九日死五十四歳[illegible]

法名 [illegible]

圓再礼 寛文七年[illegible]

寛文九年七月[illegible]

[illegible]

正忠 二三之助 母ハ春日局[illegible]

寛文七年閏二月二十八日[illegible]

正宝七己未十二月[illegible]遺跡[illegible]○同八庚申

八月[illegible]死二十一歳[illegible]同寺ニ葬

十正羽 [illegible]

正朋 初右衛門 隼人 [illegible]

[illegible] 母[illegible]宮崎善兵衛重清[illegible]

正宝[illegible]遺跡○元禄九

西子七月[illegible]○[illegible]二己酉

四月[illegible]○同[illegible]丁亥

八月[illegible]八日[illegible]

1

めくれず

国立公文書館
National Archives of Japan

寛永二十年十二月[illegible]

[illegible]内記○同二十癸未六月十六日[illegible]小姓組ニ入

[illegible]十丁酉九月十日[illegible]

同年十月十六日[illegible]寛文[illegible]甲辰閏五月廿五日

[illegible]人[illegible]○同六

丙午六月八日[illegible]○同七年[illegible]

[illegible]○同九己酉七月[illegible]

○同十一辛亥六月[illegible]○正

宝七己未十二月十九日死 五十四[illegible]

[illegible]生

圓再記
寛文七年壬二月廿八日
寛文九年七月[illegible]

正忠
寛文七年閏二月二十八日初見[illegible]
正宝七己未十二月[illegible]
○同八庚申[illegible]
八月[illegible]日死 二十[illegible]

正羽 [illegible]
兄正忠[illegible]

正勝
[illegible] 初右助 [illegible]人
母ハ宮崎善兵衛重清女
正宝[illegible]二年[illegible]九月[illegible]
丙子七月廿六日[illegible]○[illegible]二己酉
四月[illegible]○同[illegible]丁亥
八月[illegible]八日[illegible]同[illegible]十二月[illegible]八日[illegible]

めくれず

国立公文書館
National Archives of Japan

○寛永七庚辰閏八月廿九日病死○享保
七壬寅八月廿五日為正出仕継父遺跡
継後○寛保二壬戌六月十五日死年
四十三葬于法名覚信

○正徳二年十二月十八日生於
十月十八日初見
二月廿七日[illegible]
年十二
○元文五年十月十九日病死

─女子 正長か妻也

─女子 酒井因幡守家臣某妻

─女子 加藤平内某初妻

正長 初名正諄 初名某 母家女 三郎兵衛 初某 源右衛門
妻ハ正羽か女
滝川多膳利雅女 ○享保十年十二月十八日初見 ○元文三年十二月十六日初見
一壬戌九月二十[illegible]日死 法名[illegible]
○寛保二壬戌十一月十四日遺跡
○安永三甲午年十月朔日死六十九歳
法名風寛

─女子 小出丹宮相救妻

直昆 初某次郎 初甚次郎 源兵衛 源右衛門 公翁
母ハ正羽か女
内藤権之助隆雄か女
八月二日遺跡 ○安永
七年十二月十八日病死 ○同年戊戌五月

─女子 戸田久右衛門勝豪か妻

古ヶ隠居○寛政十戊午八月十五日死
年六十 葬于日寺 法名浩庵

寛政九年五月十六日
中奥御小姓より
稲葉某

正陽 アキ
養子 実ハ松沢某先達
出奔ス一旦隠居二仕
押込ミ相願ニ候ニ付
然ル後出奔ニ付免知
之儀仰付之
同年七月朔日死

母ハ隆雄か女
妻ハ建部傳内某か女
七戊戌五月十一日家督○天明元年同閏五月二十五日初見
二十五日

─女子 河野喜三郎某妻

─重寛 源三郎
長谷川四郎兵衛某
重満養
八月十二日[illegible]
寛政六年壬子十月十二日
松平肥前守之郷男
何代仕廿七日

○寛永七庚寅閏八月廿日病死○享保七壬寅八月六日五百石月番出仕之

享保二丁戌六月十七日死去

多喜　幼名某

法名覚信

女　初名[illegible]　深居院

寛政[illegible]

享保四年十一月十三日御目見

享保二十乙戌九月[illegible]

○延享二年九月[illegible]

法名風寂

同組深井[illegible]○[illegible]延享十二年[illegible]

○安永三甲午年十月[illegible]日死六十九歳

通晃　ヤス　大次郎　初名[illegible]次郎　深居　法眼　公翁

元文二[illegible]　母八正羽[illegible]女

書八門勝[illegible]雄[illegible]女

[illegible]

寛政九年五月十二日

[illegible]

千歳[illegible]日[illegible]　法名浩應

[illegible]郎

安永七戊戌五月七日[illegible]

母八隆[illegible]女

書八建部[illegible]行昌女

同閏七月二十三日初見

○西[illegible]

[illegible]

寛政[illegible]年[illegible]

○寛永七庚寅閏八月廿日病死○享保
七壬寅八月廿六日月並出仕被仰付
享保二丁戌六月廿日死 十三
法名覺信

初名[illegible] 法名風[illegible]

享保四年七月十三日[illegible]
渋川[illegible]
寛保二壬戌九月三日[illegible]○[illegible]
同組[illegible]○寛延十二[illegible]年四月二日隠居

○延享二年九月[illegible]
[illegible]

○安永二甲午十月[illegible]日死 六十九才
法名[illegible]風[illegible]

道晁 ヤス
宝暦十二壬午十月廿三日[illegible]
十一月大八日病死○[illegible]安永
[illegible]隠居○[illegible]八月廿日死
法名浩庵

寛政九年五月十四日

三郎

安永七戊戌五月七日[illegible] 二十五日 初見

[illegible]

宝暦元年十一年二月晦日致仕

正昭 忠之所
初義長 四右衛門 実松下肥前守忠之次男
後四郎兵衛 [illegible]

正衛 今之所
初源次郎 正親 四郎兵衛 書院番 [illegible] 女
宜政十年九月十二日 [illegible] 年十二年
三月晦日 [illegible]

女子 正昭妻 [illegible] 正衛 [illegible]

女子

一勇 三千石余
家紋 [illegible]

貞弘―貞晴―貞政
　　　　　―貞良―貞記
　　　　　―貞政―貞 [illegible]
　　　　　―貞親―[illegible]

貞宗、伊勢兵庫頭

伊勢貞春 [illegible]
[illegible] 女

[illegible]

寛永廿一年三月晦日殉死仕

正次 忠左衛門
初義長 四郎兵衛
実松井肥前守 [illegible] 之次男
後 [illegible] 奉公 [illegible]

正衛 今之所
初勝房 四郎兵衛 正親
実 [illegible] 之女
日向守 [illegible] 三男
寛政十年九月十六日 [illegible] 年十二年
三月晦日 [illegible]

女子 正次 [illegible] 後正衛之妻

女子

東照宮御代

伊勢
[illegible]

貞弘 左衛門佐
法住院義澄及
万松院義晴及
光源院義輝ニ仕

貞光 上野介
義澄及義晴義輝
仕永禄八年五月十九日
三好松永ニ父子死 法名 [illegible]

某 父ト共ニ討死

貞宗
伊勢 [illegible]

桓武天皇五代 [illegible] 平将軍 [illegible]
貞盛 [illegible] 伊勢守 [illegible] 貞宗 [illegible] 男

一万石 [illegible] 三千石余
家紋 [illegible]
[illegible]

伊勢貞春 [illegible] 貞為 [illegible]
[illegible] 伊勢 [illegible]
[illegible]

寛元三年 [illegible]
[illegible]

今高文門十二年二月晦日致仕

正明　初義長　四郎右衛門　実松平肥前守忠…男
後…奉行…

正衛　今之所
初勝房　正親　四郎兵衛　母…女
寛政十年九月十二日…
二月晦日…

女子　正明養女　後正衛妻

女子

負弘
法住院義澄
公院義晴

東照宮御代

植武天皇…

…

書院…

父…

母…

小田原にて城内に於て病死北条氏政に属し家
臣となり鐵砲小隊を預り所々にて高名
仕候其後北条家没落の後牢人仕居申候
權兵衛儀は内膳家康公に召出され御
知行を下され慶長七壬寅年二月廿日病死 四十九歳 法名 宗實
無嗣にて病死仕候ニ付家断絶其節家
地へかへし

某 伊勢数馬 母同
慶長七年父と共に其前に死去

貞晴 伊勢千次郎
母 神保平太夫女
妻 井戸若狭守女

女子 勝浦甚五兵衛女

慶長七年 某卒去
住へしとて仕候事

貞宗家断絶後出生仕候ニ付母後

權兵衛 御勘気蒙り候て以後流浪仕候
ところ七歳にて伯父伊勢内膳
重ねて御由緒を以て御
代々相勤め

御母方縁者にて勤めより後
寺檀家にて貞晴伯父

貞晴家断絶之後出生に
ころ母並に父子共に浪人仕
慶長七年に父子仕居候の
年父子の遺跡を継れし
慶長七年十一月
住居を移し

一母堂様ハ杢之丞御国寺ニ附候ニ付其葉々様免
御実様ニ御所令之有持候○慶長十一丙午年
十二月十四日卒十一才ニ而御死去
一北ノ御方様ニ御座候ヘ此御国表ニ而合
土岐帯刀正ニ嫁シ同人子ニ而
一御部屋様御所令ニ御持被成候○身性ニ系ニ御座候
云ニ改候信濃之娘流ニ而御座候
一御実様　御母堂ハ　御四男ニ御書付下様候
御四男ニ付浅野様ニ嫁し　御書付ニ添申候
○同十九甲寅年大坂夏御陣ニ而御○二十才ニ相見え

乙卯年大坂夏御陣ニ而
御屋形様ニ御供被成候○
大蔵院様
御方様御代御書付ニ○年月日等御記被下申
○年月日卒相果申候其後ニ大坂ヘ罷出候
ニ而大成村桂村常陸国江戸御部之内御賀
村御合ニ而相成九百石知行被下候
貞義ニ而
和泉
乙巳年九月八日病死七十四歳大谷中大雄寺ニ葬
法名日

江戸小路郎と云ふ
地名之事ニ而候

一 母堂御入寺之儀御國府御信ニ付御菓子様

ニ付御菓子様ゟ御頼合之節ニ相残候処○慶長十五年

十二月廿四日被十一日遂ニ至紀行致候へ 土屋帯刀殿之内会有り

被仰候ニ付右之家元之御紀行之内来國光之御合

一 御条紙合并不相持参候処○自身御参上ニ付宮家御扱 条件之儀ニ付

右之通ニ候処伝聞之趣ニ付相成候

一 任現様御座候 御書之御書付候下候様ニ

御書之御法度之節ニ付 御書付猶又

○同十九年寅年大坂御陣之節○二ノ丸

江戸宿所
田村屋
壱倍改

乙卯年大坂夏御陣之節ニ付

台徳院様ゟ御内済○

大猷院様
厳有院様御代御書院番○年月日不相知其村肖

書院番○年月日不相知病死仕候其後ハ土佐守跡

郡之内大成村桂村常陸國江戸へ郡之内河賀入

津村知行合五千石高之内五百石ニ被仰付候処

男貞叙ニ被仰付内御法度村番

知法継ニ被仰付候○当分之儀

元禄年九月八日病死仕候 七十四歳 大谷中大雄寺ニ葬

法名日

中 同見分
寛文五年十二月十七日 病死 ... 元禄元年六月十一日 ...

中 同見分

三

貞良　伊勢作十郎　七十二歳　六左衛門

母　井戸若狭守覚弘女

小笠原… 書　久保吉右衛門正元女

寛永元年六月二十七日 御[illegible]元服

寛文二巳丑年十二月廿一日 御書院番 ○ 三年四月三日 同見分

貞享 御書院組頭 西丸 御移 従 為 御小性組 ○ 貞享

元禄戊辰年六月十一日病死 小普請 ○ 右作十郎 勤

之内

松姫君様御附 [illegible] 入奥 伊勢流 猶方 [illegible]

中 二同見分

貞良ハ 御入奥之武芸勤候ニ付 伊勢 [illegible]

[illegible] 御[illegible] 勤 [illegible]

父子共討死 [illegible] 伊勢流 猶方 [illegible] 書物 [illegible]

[illegible] 右 入奥之武芸 勤 [illegible]

[illegible] 今 子 猶方 [illegible] 元禄 [illegible]

年八月六日病死 [illegible] 七月 [illegible] 歳

貞被　伊勢十六歳

伊勢主馬 助 貞[illegible]

宝永八未年 [illegible]

○某 寛保二年十月廿七日卒 …病死 小普請
○某 寛延元戊辰年十月廿日病死

貞親 伊勢勘右衛門 十右衛門
母ハ貞之か女 書院番
寛文五年十二月廿一日父ノ家督ヲ継 采地常陸江戸崎ノ内
二百石を知行す 書院番に列し 六年十二月三日小姓組に
列し 八年八月八日廩米百俵を加恩せらる 後署名を辞し
元禄六年十二月三日致仕し 七年十一月三日死す 年
大雄寺に葬る

某 仲平 実ハ某氏ノ某 貞親か養子となる
元禄六年十二月六日家を継 三百石 後廩米を…せられ 其内廩米
を収められ 一生月俸五口を賜ふ 宝永元年死

某 左京
寛文十一年九月二十八日…
蔵米何俵…
貞救 実ハ伊勢平左衛門貞利ノ長男 甚八郎 傳十郎
養母ハ久保吉左衛門正之女
実母 家女
妻 吉田貞真女
寛文元年 実父伊勢平左衛門… 寛文元年
六月八日 御目見 同七丁未年十二月…大番に
切米…同十庚戌年十一月…御切米…
宝永七年 八月…日 新…
…月…子…元禄…年

〇貞清 寛文〇〇月十七日病死 [illegible] 小普請

〇貞辰 延宝元癸丑年十月廿六日病死

貞親 伊勢勘右衛門 十左衛門

母ハ貞清ノ妹也 書院番

二百石 [illegible] 寛文七未年 月

別し 八年 八月

元禄六年十二月 致仕し

大雅 [illegible]

伊平

実ハ某氏ノ某 貞親ノ養子

十二月 [illegible] 小普請 [illegible] 宝永元年死

貞敷 教

実ハ伊勢平左衛門貞利ノ弟

伊勢伊勢守 初 兵八郎 傳十郎

實ハ伊勢平左衛門貞利ノ長男

養母ハ保 [illegible] 女

実母 家女

妻 [illegible] 貞 [illegible] 女

実父伊勢平 [illegible] 方 [illegible] 寛文元辛丑年

六月八日 御目見 同七丁未年 [illegible] 十二月 [illegible]

切米 [illegible] 同十庚戌年十月 [illegible]

宝永 [illegible] 年 八月 [illegible] 日 新 [illegible]

同月 [illegible] 元禄 [illegible] 年

寶永六年十一月十五日逝列新居
遠江守清兄公時服
三ツ羽織下され
三服正徳元年
七月十八日
文昭院殿御所之
御佛殿に御成
乃事をし宿り
番に組ごとく
銀二枚賜ふ

◎享保二年四月
廿八日三月廿日
御召出御番
金十枚時服三
羽織一つ

十二月廿一日家督七百石を継ぎ小普請となる
新番となる〇同六年十月十日遺跡を継〇同年十一月
六年二月十九日小姓組〇同十一年七月
十二日西丸書院番〇享保二年十月十日書院番
請、女伊勢守〇同十二年十二月廿五日
加増三百石都合千石〇同十七年
西丸八日勤定〇享保六年十二月
大八日病免〇同八年八月廿日七抵本
草二病死同年之歳法名日法

女子

貞某自製妻

貞丈　伊勢内藏助　老門

母　伊勢兵庫頭貞良女　元禄十五年七月十二日卒

〇享保元年十二月廿八日御書院番〇同年三月... 病死 法名日綱

貞陳　伊勢左膳門
嫡子

貞恒　伊勢兵部
記父家子之歳

滋精　高縄清左衛門　起母
宝永六己丑年七月十六日
高縄清左衛門滋従養子となる

女子二人
小笠原九郎兵衛妻
內　永井[illegible]直[illegible]妻

女子
伊勢左衛門
鳴海[illegible]祖[illegible]又[illegible]

貞語
母信乃女
享保二年二月二十四日文化[illegible]
遺跡を継　小普請[illegible]　四年正月十二日死　法名[illegible]

貞恒
嫡孫
伊勢平八郎
作事[illegible]
隠居[illegible]

元文四年二月十七日
[illegible]

母　高尾伊賀守[illegible]女
妻　[illegible]野[illegible]清[illegible]女
父同[illegible]貞語[illegible]病死[illegible]
貞語[illegible]又伊勢[illegible]享保二丁酉年
十二月[illegible]病死[illegible]
八郎貞恒と[illegible]又[illegible]享保[illegible]
[illegible]年二月八日[illegible]癸卯年
八月廿八日[illegible]小普請[illegible]十九[illegible]年十二月[illegible]
[illegible]宝暦二丙戌年九月十五日[illegible]

七十三ノ十八公布ス

安政○明和二丙戌年十月廿六日病死歳六十○門
七庚寅年四月廿一日須依判證行持済之後
寛政五年六月八日死八十四葬同所法名日閑

旧フ八ノ八
新フ八十七
重修譜八百

貞籌 左京 早世

貞實 直之助 實ハ伊勢久右衛門貞臣ノ二男 貞恒ノ養子ト成 ……

貞甫 致仕一涯

實母 河野氏 通倫女

養母 家女

妻 某氏貞恒養女

[illegible]

今 安永七年六月廿日近江国……

宝暦九卯年九月廿二日生 十歳年正月廿八日
御目見○明和七寅年四月廿一日
家督小普請入○同八年卯年十二月廿七日番
從前○寛政七年八月病死○同八年四月十五日致仕一涯

養女

實ハ河瀬氏女貞恒養女
某子貞慶妻ト成

女子

某 家之助

貞正 伊勢十三郎
……

天明元丑年十二月廿七日生

十二月廿八日公布

明和三丙戌年十月廿六日病死
七庚寅年四月廿一日湯島報恩寺ニ葬
寛政元年八月十四日 法名日圓

貞慶

伊勢平八郎 初角門 致仕 一匹

母河野氏女

實母 家女

妻 貞恒女

寶暦九卯年九月十二日家督 十歳 正月
廿八日 御目見 明和七寅年四月廿一日
家督小普請 安永八年卯年二月廿七日
隠居 安永九子年八月病死 四十五 一匹

安永七年六月 (旁注)

女子

貞正

伊勢十之郎

女

天明元丑年十二月廿七日 家督

女子 寛政八年四月十九日生 同九年五月十三日卒
堀子貞正妻
同年六月十三日…
某 平太郎 早世
女子 小栗宗次郎信孝之妻
女子
某 伝左衛門 早世
女子
女子

貞一 角之助 母ハ貞處ノ女
貞友 政吉
女子
某 金太郎

某 伊勢
恒成 大番頭 …年
貞盛 代 山城守 伊賀守
貞光 … 貞宗 …
伊賀 中務
貞清
母 …大宮子 女
妻 …女

権現様江十一歳ニ而御目見仕候
慶長十九甲寅年大坂御陣御供仕候〇元和
元乙卯年大坂夏御陣ニ茂
台徳院様御供仕候〇其後御書院番
被仰付御奉公仕候処病気ニ付小普請〇寛文五
乙巳年九月八日病死葬地不知

貞良　伊勢猪十郎

慶長二丁酉年御書院番ニ成　書
今ハ江戸御旗本　印貞慶継

主馬　貞俊家
分家

文

伊勢伊十郎貞晴二男伊十郎　母ハ[illegible]女
貞政弟新銀之丞　昌澄　女

寛永八辛未年月日不知新規ニ而武蔵国
満玉郡今井村ニ而高武百石被下御書院番
〇同十七庚辰年月日不知病気ニ付小普請〇
萬治元戊戌年十月廿七日病死於江戸武州
浅草太成村東泉寺ニ葬　法名空存

拾四歳十一歳ニ而初而御目見仕候
慶長十九寅年大坂御陣御供仕候〇元和
元卯年大坂夏御陣ニ茂
台徳院様御供仕候〇元和二年御書院番
被仰付御番相勤病気ニ付小普請〇寛文五
巳年九月八日病死葬地同所

貞良　伊勢縫殿十郎

慶安二丑年御書院番〔書〕今ノ伊勢兵部ハ貞慶継

大猷院様御代

〇伊勢　〇平姓　家紋　四ツ石[illegible]

伊勢作十郎貞晴二男作十郎ヲ養子[illegible]　女

貞晴新銀ト号ス

昌澄　[illegible]信　女

寛永十八年未年[illegible]月[illegible]新規[illegible]御蔵米

御知行今井村ニ而高百石[illegible]御書院番

〇同十七庚辰年[illegible]月[illegible]病死小普請〇

万治元戊戌年十月[illegible]病死葬同所

本所太成村東泉寺ニ葬　法名空荷

検校御ニ十一歳ニ而御同心ニ成 伊勢
慶長十五年戌年大坂冬御陣御供○元和
元乙卯年大坂夏御陣ニ茂
台徳院様御代ニ而御供○三代様御書院番○
明ケ年戌ニ而病死八十八歳○寛文五
乙巳年九月八日病死葬所○○

貞良　伊勢惣十郎
慶安二己丑年四月書院番入今ノ伊勢貞丈
卯貞慶

貞政　伊勢十之丞
母　井戸某女
妻　織田某女　昌澄
寛永八年未年月新規御番入
御書院番○十七歳○
承応元年辰年十月病死
葬所　宝蔵寺

貞親　伊勢勘右衛門

父伊勢守貞[illegible]二男　[illegible]

家断絶

母早世

女子　[illegible]　[illegible]親妻

貞利　伊勢平八郎　後兵庫頭貞之

母　織田三郎左衛門昌澄女

妻　松平出雲守勝隆女

[illegible]元年十二月[illegible]○同[illegible]甲午

[illegible]

年[illegible]七月十六日　寛文[illegible]年[illegible]

[illegible]天和元辛酉年七月[illegible]

[illegible]○同[illegible]三癸亥年[illegible]

[illegible]元禄二[illegible]年[illegible]病死

[illegible]○同八乙亥年七月[illegible]○同十[illegible]

辛巳年十月九日病死[illegible]

葬[illegible]

女子　秋山十郎左衛門[illegible]

貞較　伊勢伊勢守　初八郎　伊十郎

母[illegible]

寛文元年辛丑年六月[illegible]○同[illegible]九○月七[illegible]未年

十二月継目（廿九）御礼ヲ太田安房守切米四百俵ヲ給　十庚戌
年十月（廿三）御番方ニ入　正徳五丁未年八月朔
日同四百俵ヲ同七己未年四月御家
督大伯父伊勢守飛十郎自分嫡子（年）養子ニ成
同年四月切米[illegible]

貞船（二十九）　伊勢守年頃[illegible]　嫡子妙　七郎右衛門　平左衛門

母　松平主馬珍隆女

妻　戸田兵庫頭直武女（四月嫁家）

延宝七年六月二十六日　誕生
元禄八乙亥年七月（九日）[illegible]小普請ヲ同十二

庚辰年十二月（三十五歳）[illegible]
病死小普請ヲ享保元丙申年九月[illegible]病
死（四十九）[illegible]葬　法名日顕

貞明　伊勢今千郎

母　戸田兵庫頭直武女

妻　無

享保元丙申年十月（二十九日）[illegible]遺跡継小普請ヲ同
二丁酉年七月九日病死（二十一）[illegible]葬
法名[illegible]

貞臣　伊勢久右衛門
兄養子

貞臣　初名貞能
伊勢又右衛門

養母　同之
実母 [redacted]
書　甲府勤番
同又十郎為信娘女

享保二十一年十月初名　家督小普請入十四才同九年辰年

八月十三日甲府勤番同年六月廿八日西丸御書院番〇寛保三
癸亥年七月仮目付判形兼〇宝暦二壬申
年八月十六日御役〇同十二壬午年十二月十九日御
御代替ニ付御目見同年六月廿二日西丸御裏御
張二付御役〇安永二癸巳年八月廿二日老衰ニ付小普請入
御役御免〇同年九月廿一日病死七拾歳中府
縁町信立寺葬法名日貞

貞條　伊勢右京助

母　同氏十兵衛某女

妻　某

[illegible]

明和二乙酉年十二月廿七日遺跡を継ぐ新番に列す

寄合甲府勤番となり切米百俵○同六庚寅年

六月朔日ゆるさる

御目見○同年○月廿日小普請○安永二癸巳年十二月廿八日…　寛政十九年…

同六丙申年八月…判形…天明…

年…月…代…七丁未年…

廿日　御目見　同十二月…百俵…

拔附…二…寛政十二年十二月…卒

貞實　直之助　伊勢守　八郎

女子二人

母…

某女

河村平次郎…妻

三 貞紀
伊藤忠之助
母ハ家女
妻ハ柴田七九郎正幸ノ女

四 貞正
伊藤十三郎 初松三郎
天明元辛丑年十二月廿七日 西丸書院番
伊藤平八郎貞慶継養子

子 氏休
塚門定之丞
天明六丙午年十二月十六日 甲府勤番
塚門久兵衛氏當養子

女子二人
一 甲府勤番 前沢源五右衛門利宗妻
二 山岸幸次郎景照ニ嫁離別

一 寄合御(?)代
平姓
伊勢 [redacted]
高三百石
寄合 向合㨾
おの妻
桓武天皇六代後胤平将軍貞盛
廿四代山城國住人伊勢左京亮貞為
嫡男
右本(?)實父(?)
貞衛 伊勢左京(?)
初貞(?)
寛之(?)
勤 清十郎
[illegible]
母 [illegible] 女
章(?)
妻(?)

先祖代々足利将軍ニ仕候処、殊ニ織田御所代々
足利義輝公寵臣ニ候、筑前守義継逆心ニ付
時、先祖伊勢伊勢守貞孝家来之好
筑前守義継ニ挑戦首ニ而討死仕候為
御首数度諫申上候得共、忠義之為
君御之好筑前守義継後ニ仕
伊勢守貞孝逆心之紀義継討手之義
輝公御討死ニ付而義輝公之御
之後山城国二宿所ニ而伊勢守貞孝嫡

男兵庫頭貞良父子共切腹仕候、兵庫頭貞良嫡
嫡男兵庫頭貞為ハ幼少ニ御座候ニ付
伊勢守貞孝家来共、御旗本ニ被召置
候而成人仕候、兵庫頭貞為様ニ御奉公
織田信長公ニ仕候、信長公御討死之
後豊臣秀吉公ニ仕候、年月之
後太閤秀吉公ニ被召出、病気ニ付浪人
ニ而兵庫頭貞為嫡男兵庫頭貞衛儀

浪人ゟ之三十ニ而罷在元和年中

天樹院様ゟ元吉ト申者ヲ以席貝衛二ノ丸御殿ニ而

召出ニ成同月奥方ニ而罷出御成ニ而

桂昌院様ニ御目見ニ　月廿八日ニ

席貝衛御母ニ者白川ゟ　岸和泉守女　席貝衛

十二月七日病死ハ桂昌院様御葬送大善寺ニ葬

○右貝衛後室永十二巳卯年九月廿一日

千代姫君様尾張光友卿江御入輿之付而御親武

崩御ニ付家康公ニ者御勤仕ニ付ハ御親武ニ

相合ニ而仰付候

○宗永年中兄弟頼ニ府将軍自盛年

親王将門ニ之討亡之乃御護國

基權天皇小島丸ニ太刀庭後從相伝太刀

太刀前御法後達　上開山尊ニ奉納

上総久太刀合之亦相伝ニ謹而

○自享二丁亥年二月ニ召

蔦姫君様紀伊綱教ヘ御入輿之付而御親武崩

江戸へ参候節ニ而元和年中
天樹院様ゟ元和年間ニ本多貞衛ニ条ニ被下置候
有之候所月奥方ニ而有之御成之候
松姫様 寛永十[illegible]年[illegible]月廿八日ニ
本多貞衛御母ハ近江国…本多貞衛
岸和泉守女
被下置候 大猷院様御代 元禄二己巳年
十一月七日病死ニ而位牌ハ両大保寺ニ葬
○本多貞衛後寛永十二乙卯年九月廿一日
千代姫君様尾張光友卿江御入輿ニ付而御紋

御紋江戸家康公ゟ御勤ニ付ニ而御紋之
被下置候
○寛永年中先祖…将軍貞盛年
親王将門を討…
林権天…小島九…
右之刀…
上様…
○貞享二乙丑年二月…
鶴姫君様紀伊綱教卿江御入輿ニ付而御紋御用

重修譜
進献之書之事よしく
御覧被遊候之

家流ニ心を動シ犬追物扣之所持之書物并秘伝之[redacted]書全二枚
附也二

○貞享年中家流之書物并秘伝之数を

上聞ニ達シ有之候　上覧ニ入其書物御用之有由

拾八巻写之ニ指上候後ち返之候其書ニ

右書物左之通

真犬追物之記　拾巻

三方揃ニ而犬追物之記　二巻

犬追物検見之古実并之縄之　二巻

犬追物日記縄之図　拾六巻

犬追物検見之記　六巻

犬追物初心者之為ニ集メ　壱巻

犬追物射手目見之記　六巻

犬追物思召渡割　二巻

方書　三巻

真読犬追物記　九巻

法量記　九巻

明鏡之記　三巻

笠掛之記　十四巻

騎射之記　二巻

的夢之記　四巻
大的之記　壱巻
矢代之記　三巻
小的之記　三巻
大坪家秘證之記　三巻
雲龍集　八巻
流鏑馬　二巻
手縄之記　二巻
圓的　四巻

草鹿之絵図　壱枚
矢開　壱巻
弓材削　壱巻
矢之記　二巻
大的之絵図　壱枚
笠懸之絵図　壱枚

都合百拾八巻

右百拾八巻之内六拾壱巻貞衛写申候残拾
二巻嫡男伊勢守貞守写申候残四拾

元禄元年十二月九日致仕しく同二年十一月七日死年八十五法名長国寺久保大蔵寺ニ葬る之[illegible]

之巻貞衛方子孫今ニ家流之書物ニ
後之先祖代々足利将軍家廊中之礼儀作
法諸礼所役弓馬式等ノ図以後之書記并右書物
先祖以来之書物代々未所持仕候不残
今之所持仕候右同多縄之記貞衛村背景
康之為大的綺羅掛綺羅矢之記を写之
年数経之処読失仕候ニ不及貞衛後家流
指南仕今ニ相続仕候

一 貞翰 初名 久達 市右衛門
實ハ松平大隅守光久ノ五男貞衛ノ養子トナル寛文六年四月二十八日初見 時歳貞衛生年五十[illegible]

一

貞守 伊勢兵庫 初平三郎 母某 初名 貞紀

母 家女

妻 [illegible]深女

延宝貞享[illegible]

元禄元戊辰年二月九日家督相続同十二年[illegible]
年[illegible]月[illegible]継目[illegible]礼[illegible]同十二庚寅年七月
[illegible]采地之[illegible]相模国大住郡
上大槻村同国[illegible]郡[illegible]村下野国[illegible]
村之[illegible]宝永二[illegible]年[illegible]月廿二日

三

病死只松泉寺内原大炊ニ葬 ○法名長香

貞時 伊勢平四郎 帯刀

水戸光圀卿ニ仕ヘ後致仕ス

貞衡家ニ帰ル病死子孫無之貞時家

断絶

廿六

女子二人

二宮勘右衛門正良妻

四津金助右衛門 流妻

某 金三郎

貞高 権之助 数馬

貞永 伊勢左京 初平三郎 后紀

母 白須字右衛門政保女

家督

宝永二乙酉年七月十二日家督 同年

十二月廿八日[redacted]九月七同七庚寅年二月廿六日

病死二十 松泉寺ニ葬 法名長栄

貞益 伊勢左京

兄貞永末子ト云

二百石
伊勢兵庫 初九十郎 勤仕無

貞益

養母 某

実母 白須宮内少輔政保女

大番組頭より

妻 大久保長兵衛忠昌女

宝永七庚寅年六月廿六日家督 千石

七月十一日継目御礼 享保十七年十月廿二日

病死

○右貞益後家流し書物不持候段、左之

書ニ享保二十卯年十二月九日差出之 戊寅年

年代錯乱故

此伊勢貞陸ニ関ル書は

乱故

何年六月二日相渡候書物 左之通之分目録

之通

兵具記　壱巻

公方様御軍旅記　壱巻

矢服鞍鐙挟物之記　壱巻

御成之記　二巻

太刀小袖之傳　壱巻

御旗之書　壱巻

多花枝折之記　壱巻

躍至書折紙　壱巻

弦之修紀　二巻
弓矢韘鞢付勝之事　壱巻
武雜書札　壱巻
射付之類色々之事　壱巻
神弓手志て付る事　壱巻
弓之握巻根ニ而分色之事　壱巻
日置流書　二巻
儀立之紀　壱巻
御字孫般之紀　壱巻

弓之根元　壱巻
人之射る名よらふ事　壱巻
弓巻之積飾品　壱巻
磨弓巻拵事　壱巻
色之請取渡之事　壱巻
馳腰可仕覚悟之事　壱巻
御府補備之紀　壱巻
武雜記　壱巻
軍中之記　壱巻

婚入之記　壹巻

三方様御用書御案文　壹巻

周書之記　壹巻

真羽之法　壹巻

産所之始　壹巻

式三献七五三之膳部記　壹巻

式膳部并餝道具指記　壹巻

みたし并机之外才人記　壹巻

婚迎之記　壹巻

大草殿料理之書　二巻

正月中祝儀餝之儀式　壹巻

産所記　壹巻

膳組折并色々之事　壹巻

献并産中之掛物并雑之　四巻

立花之書　壹巻

銚子提子根元并色々之事　壹巻

将軍家元服之記　壹巻

御成并殿中御一献之記　壹巻

負板持参之記　壹巻

殿中申次之記　壹巻

上﨟名之事　壹巻

女房筆法事　壹巻

条々聞書　二巻

正月と元三との事　壹巻

大草殿より相伝之聞書　壹巻

武雑書札之冊　壹巻

三条之事　〇乙丁十二歳殿　壹巻

都合拾弐巻右書物今所持仕候

伊

同日寛文年三月廿二日右書物之内二拾七巻

當家貞宗自筆之写之大久保甚之丞殿

より参り右書物之通

色々請取渡事　壹巻

配膳可仕覚悟之事　壹巻

武雑記　壹巻

婚入之記　壹巻

囲碁之記　壹巻

式三献七五三之膳部之記　壹巻

式膳初菜飾席之様記　壹巻

み浦〻志摩之介寸人記　壱巻
懸纏打長色之事　壱巻
明奥庭中立石乃まゝ排之　同巻
将軍家元服之記　壱巻
殿中御沙汰之記　壱巻
京之聞書　二巻
正月ぞ元三之以事　壱巻
会貝記　壱巻
公方様正月御事始記　壱巻

御成之記　壱巻
御成之記　殿中四献　壱巻
御旗之書　壱巻
鷹之餌記　二巻
神馬ゟ為ゝ引渡事　壱巻
人様庭前乃小事　壱巻
　都合二箱七巻
同年四月十五日此書物写差上候付為御褒

寛附後太郎〇同六寅年七月廿日廿三歳

年十二月ニ武家之班実之御定度之御奇

御殿山ニ付家慮之儀ニ付法ハ

年代銘札
前之の趣し

ろ〇享保二丁酉年十二月晦日御奇之組当附勤

定年行御撰御附之以而私先祖之御

撰之者之旨ニ付京都之御勝手書上下戸谷ニ付

下京出雲守御役之上ニ而其添書ニ而勤定年行

御撰御附之御沙汰申之是ニ而御座候ニ付而

相私ニ而以後御旨法口今之御撰奥入御

家御ニ御之由御座候

に〇享保二酉年九月十七日私家之義ニ付願書之内

御奇ニ付先祖様之節ニ御座候面自然ニ書付之候

佐々小島丸ニ而先祖先之御撰御附之負

継足利尊氏公御代ニ供ニ罷出候ニ付而申上

先祖御撰御附之負継足利尊氏公より拝領

佐々木大膳太夫義梅正町御百姓余

御国郡ニ在城ニ而元和年中之頃

摂津様之先祖自衛より其御方之組之上

候之私共方茨甲　上總之以後之御

同年九月十七日在府 上使久鬼越前
御感之上意有之太刀并甲 京都御殿
今示精誌之 同十年十一月廿六日死 年三十二 法名光崇

一 貞陳 仟摩政之丞
母 大久保治部忠昌女
無書
享保十七巳年十二月廿六日家督二而合○未継 十二才
同廿九丙午年六月廿五日病死指

以米同寺ニ葬○法名永和 植光院以下之庄莫少四庄
山将元 議武 之年紙以

三 貞古 忠次郎 母
四 女子
五 女子 山角四郎右衛門定浩之女
二 貞丈 仟摩年飛 初万御 台庫
母 大久保治部忠昌女

同年九月十七日京都 上總介忠郷
御感之上於居之太刀并甲 頂戴仕
今亦相伝之 同十年十一月廿六日死年三十三 法名光栄

一

貞陳 伊勢政之丞

母 太田保右衛門忠昌女

家督

享保十乙巳年十二月廿六日家督相続〇十二才

同廿乙卯十一月十一 丙午年六月廿六日病死指

以宗同寺ニ葬〇法名永和 指光宗以下之者英才忠庄

山縣九六郎 諱武 親之

三 四 五 二

貞古 忠次郎

女子

女子 山角四郎右

貞丈 伊勢平蔵 初万助 兵庫

母 太田保右衛門忠昌女

松平陸奥守醫師

書ニ永井扇軒　扇安女

先祖之儀初ハ病死仕候武蔵...

享保十一丙午年八月...

御代々御奉公相勤...

高倉院享保二己亥年九月...

巳甲辰年二月十六日...

同年六月...病死...

家流之書物...

享保八癸卯年十二月...書物...

[illegible]

右ニ　上覧ニ入

右書物

矢根鍛冶指物弓之記　壱巻

太刀小袖之記　壱巻

弓弦枝鏃記　壱巻

謹直...記　壱巻

弓矢鞭鞢鞍之事　壱巻

武難書札　壱巻

[illegible]之事　壱巻

弓之極意限ニ而色之事　壱巻

日置流書　二巻

借弓之記　壱巻

弓之根元　壱巻

百番之積修習　壱巻

鶴弓巻之并事　壱巻

四張弓改め之記　壱巻

軍中之記　壱巻

公方様御聞書之案文　壱巻

真羽之修　壱巻

義弓之掟　壱巻

婚遣之記　壱巻

大草家料理書　二巻

殿中諸緒飾之修習　壱巻

産所之記　壱巻

立花之書　壱巻

銚子提子根元并色之事　壱巻

御成并御中江一献之記　壱巻

奥報抄系之記　壱巻
上蔵后之事　壱巻
女房筆法事　壱巻
大宰府下相伝之算書　壱巻
武雑書礼之篇　壱巻
公家之号下　壱巻
都合二拾四巻右之書物今以所持仕候
同十九甲寅年二月廿四日右書物内四巻
四冊之付貞丈自筆之写之此是壱冊伝写致也

以上右以大写之書物也
日置流法要録抄　壱巻
宗伊征矢師之法家　壱巻
御成弁観中四ケ秋之記　壱巻
大宰府下相伝之算書　壱巻
都合四巻
同年同月廿九日書物写出シ以後為相伝
前人附後之諸級以来不断篇伺　上様公
御之家流之書ニ而所持仕候　前ノ延享二へ　まくり

初名[illegible] 宝暦中内膳ト改 実ハ貞矩二男

貞敦 伊勢守 後公母

養母 永井[illegible]女

実母 家女

妻 養父貞丈女

宝暦七丁丑年十二月七日願之通養子ニ被仰付 後病

身ニ付同和 安永甲子年十二月十五日惣領除判被

也 依之後見天明元年丑年七月十四日病死

法名 [illegible]寺ニ葬

女子 貞敦之室

貞芸 伊勢万助

嫡孫[illegible]

正和 後蒼清三郎

天明二壬寅年十二月十九日[illegible]

後蒼清[illegible]正能養子

貞春 伊勢万助

正和 初貞和 平助 清三郎 後蒼清[illegible]正能之養子

母 伊勢平蔵貞丈女

妻 内藤[illegible]恒[illegible]女

貞暢 百助

実[illegible] [illegible]後[illegible]女

明和五年二月廿七日福孫平組ゟ天明四年
九月二日ゟ迄（時ゟ同二十五日）同五年十二月廿九日小笠原
能登守門弟二而能修之元ゟ錫丸指南相二
同八年十二月廿三日御丸ニ寛政元年二ﾉ
月晦日小将組ニ同七年二ﾉ月四日差書
同孫ニ而之旨御役同月九日差上申
以後同月廿六日差書之内四拾七葉差上候

右書物

一 弓馬故実集　三冊 巻
一 大学啓蒙抄之写　壱冊 巻
一 正月中祝儀飾之図　壱巻
一 日置流法要録抄　壱巻
一 文明殿中日之記　四冊
一 京納羽軍之次第同　一冊 巻
一 承茂親基日記　同
一 東山殿致帳　同

一 鎌倉年中行事　同
一 貞陸自筆記　同
一 三好筑前守亭迎御成記　同
一 武雑書札礼節抜書　同
一 大追物日記　五冊
一 大追物図　一枚
一 草鹿図　一巻
一 新修鷹経　一冊
巻

一 新猿楽記　同
一 類聚雑要抄　四冊
一 後照念院殿装束抄　一冊
一 桃花蘂葉　弐冊
一 世俗浅深秘抄　同
一 簾抄　同
一 西三条装束抄　一冊
一 布衣記　同

一 次将装束抄　同

一 撰塵装束抄　同

一 装束色彙　弐冊

一 桃葉日記　一冊

一 相国寺供養記　同

一 須磨日記　同

一 衣かつき日記　同

一 源光院殿記　同

一 徳倉大事紙　弐冊

一 海人藻芥　一冊

一 后宮名目抄　同

一 嵯峨野物語　同

一 禁秘抄　三冊

一 新十二月往来　一冊

一 鷹之書　同

一 鷹秘伝書　同

一 庖丁書 四条流　同

一 蹴鞠条々　同

一 蹴鞠聞書　同

一 犬追物之注　壱冊

一 女官飾抄　一冊

一 職官峯相定奏ゟ続　同

一 続難日記　同

都合四拾七点

同年七月十二日進呈 同八年七月朔日 △見合

去年進呈之書物 上覧相済御下ケ

同七年九月十日小島丸之被差出 同十

月廿二日 上覧済之同八年正月十九日弐

巻右図数書用ニ付弱数分ケ書物進之

進呈可仕旨被仰渡

△見合

○右者御用中ニ

日本政府圖書

貞教 千太郎
母ハ某恒之女

女子

女子

女子

某 千次郎

内閣文庫

国立公文書館
National Archives of Japan